

C2

1113

57-03

東 京 圖 書 館

新書門

乙十

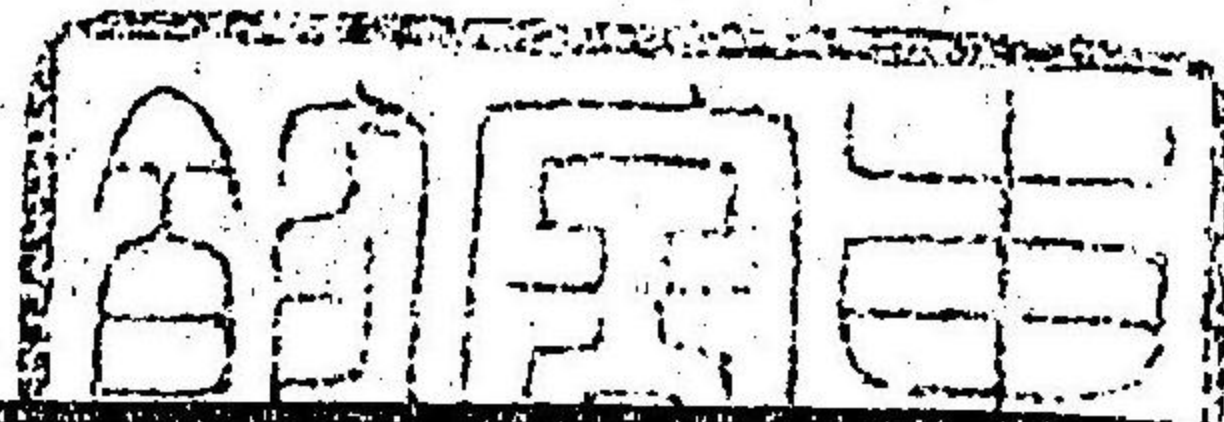
部 類 函 架 號 冊

岐阜縣布達類纂第二編

十六年
甲號

二

C2
1113
57-03



現
行
岐
阜
縣
布
達
類
纂
第
二
編

甲
號
之
部

甲
第
一
號
十
六
年
一
月
十
五
日

戶長身分取扱之儀自今左之通改定相成候條此旨布達候事
但給料之儀は従前之通

准十等ヨリ准十七等ニ至ル

○甲第二號 十六年一月二十日

自家飲料ノ爲メ一ケ年一石ニ超ヘサル酒類ヲ製造セントスル者届出方等ノ儀明治十
四年本縣甲第七十七號ヲ以テ及布達置候處客年(十二月)太政官第六十一號ヲ以テ酒
造稅則改正追加之儀布告相成候ニ付テハ同附則第一條之通自家用料ノ酒類 飲料ニ用
混和及ヒ其他ノ 製造セントスル者ハ更ニ來ル二月廿八日迄ニ其
用ニ供スルモノ

十六年甲號

〇一

製造スヘキ酒類ノ種目石數并造リ方法書相添戸長ノ奥印ヲ受テ所轄郡役所ヲ經テ縣
廳ニ届出製造免許鑑札ヲ受テヘシ此旨布達候事

但爾後本文ノ酒類ヲ製造セントスル者ハ其時々届出製造免許鑑札ヲ受テヘシ

○第十四号甲七拾七號第三
照卷五類百二十六ニアリ

○甲第三號 十六年一月廿三日

惠那可兒兩郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第四號 十六年一月廿五日

多藝郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第五號 十六年二月十七日

土岐郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第六號 十六年二月廿三日

大野益田兩郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第七號 十六年二月廿八日

明治十五年本縣甲第二十八號布達ニ依リ開業免許證ヲ受タル醫師事故アリテ該家ノ
相續權ヲ失ヒ候節ハ速ニ其旨届出免許証ヲ返納可致此旨布達候事

○第十五号甲貳拾八號第四
照卷八類七十七ニアリ

○甲第八號 十六年三月二日

明治十三年本縣甲第三十八號布達死亡届取扱左之通改正來ル七月一日ヨリ施行候條
此旨布達候事

○第十三号甲三十八號第四
照卷八類七十六ニアリ

死亡届取扱規則

第一條 醫員ハ其施治ノ患者死亡セハ速ニ第一號式死亡届ヲ作り死者ノ家人ニ附與
シ家人ハ之ヲ其町村衛生委員ニ差出スヘシ若シ死亡届ヲ附與スヘキ家人ナキ場合
ニ於テハ届書ヲ醫員ヨリ直ニ該町村衛生委員ニ交付スルモノトス

但二名以上ノ醫員ニテ治療スル片ハ主任ノ醫員居書ヲ作り重複遺漏ナキヲ要ス
第二條 患者死期ニ至リ初テ診察シ未タ投藥セズシテ死亡セシモノト雖也第一條ノ
手續ヲナスヘシ

第三條 頓死或ハ急性病ニテ醫ヲ招クノ暇ナク死去セシ者モ尙醫員ニ就テ死後診斷
ヲ乞フヘシ醫員ニ於テハ其親戚等ニ病狀ヲ審問シ第二號書式ノ居書ヲ作り第一條
ノ手續ヲナスヘシ

第四條 醫員ニ於テ診斷ノ未死狀常ニアラスト認ムル片ハ警察官ニ急報シ檢視畢ル
ヲ待テ死亡届ヲ作り第一條ノ手續ヲナスヘシ

第五條 醫員ニ於テ警察官等ノ請求ニ應ジ途上行斃其他ノ死體ヲ診斷シ死亡届ヲ附
與ス可キ家人ナキ場合ニ於テハ届書ヲ直ニ町村衛生委員ヘ交付スヘシ

第六條 病死者生前已ムテ得サル事由アリテ醫員ノ治療ヲ受ル能ハス又第三條ノ手
續ヲ盡ス能ハサル者ニ限リ第三號書式ニ準シ親戚一名隣保二名以上連署シ戸長衛

生委員與印ノ上届出ツヘシ

第七條 死亡届記載ノ例 (十六年甲五十三號ヲ以第
七條并第一號書式改正)

- 一、職業ハ諸業農商工力役ノ五種ニ分ツ婦女若クハ老幼癩疾ニテ常職ナキ者ハ
戸主家族ヲ論セス其一家ノ營業ニヨリ記載スヘシ例之ハ一家ノ營業ハ農事ヲ專
族ニシテ自己一身ノ恒職ナキモノ、如キハトシ戸主獨工業ヲ執ル者ノ家
二、官員及藝術家ヲ始メ華士族平民共ニ農商工力役ヲ除クハ外ハ総テ之ヲ諸業
ト記スヘシ

- 三、居書ニハ死亡者十四年以上ナレハ鰥夫寡婦既婚未婚ノ別ヲ記載スヘシ
- 四、死後診斷ハ生前ノ病症知得ヘキ丈ケテ記シ若シ詳ナラサレハ病名不詳ト記
スヘシ

- 五、疾病ヲ分テ左ノ十一類トス必ス此類別ニ據リ區分記載スヘシ若シ其類別ニ
據ル不能ハサルモノハ其症候ヲ詳記スヘシ

流行病 全身病 神經系諸病 血行器諸病 呼吸器諸病 消化器諸病 泌尿
 生殖器諸病 附婦人病 小兒病 皮膚病 附梅毒 外科的諸病 外傷及變死刑死
 一〇 職業ハ戸主及本人共實際執ル所チ各別ニ記載スヘシ
 二〇 年齢十二年以上ノ者ハ既婚有配偶未配偶ノ別ヲ記スヘシ
 三〇 死後診斷ハ生前ノ病症知得ヘキ丈ケテ記シ詳ナラサレハ病名不詳ト記スヘシ
 四〇 疾病ヲ分テ左ノ十一類トス必ス此類別ニ據リ區分記載スヘシ
 但此類別ニ據ルニ能ハサルモノハ其病名ヲ單記シ若シクハ症候ヲ詳記スヘシ
 傳染性病 發育及營養病 發育的疾患 皮膚及筋肉病 骨及關節病 血行器病
 神經系統及五官器病 呼吸器病 消化器病 泌尿生殖器病 外襲性變死 中毒病
 第八條 此規則ニ違背スルモノハ岐阜縣違警罪ヲ以テ罰スヘシ
 (第一號) (舊文ヲ掲ケス)

死亡届 料紙半紙

何縣何國何郡何町何番地住(寄留)寄留ノ者ハ本籍ヲモ併セ記ス

戸主職業(農作主、農作人、樵夫、人力)某父或ハ母又ハ何々
車挽、米搗、無職等ノ如シ

本人職業(學校生徒、教員、新聞記者、代言人、炭燒、渡守、俳優、獵師、機械職、按摩、無職等ノ如シ)

病類何々 既婚 有配偶 未婚 無配偶

病名何々

姓名

年月日死

年齡

初生ノ兒ニテ未タ命名セサルモノハ(某初生兒)(男女)ト記ス

右ハ私施治ノ患者ニ候處死亡候ニ付此段御届申上候也

何郡何町何番地

年月日

姓名 印

長官宛

(第二號)

死亡届

病類何々
(病類不詳)
病名何々
(病名不詳)

肩書等都ヲ前ニ同シ

職業 姓名

何年月日死

年 齡

右死後診斷候處頭書之通(診定)ニ付此段御届申上候也

年 月 日

肩書同上

醫 姓名 印

長官宛

(第三號)

死亡届

肩書同上

知ルヘキ丈ケノ
容体ヲ記スヘシ

姓 名

年 齡

右云々之次第ニテ醫員ノ死亡届書無之ニ付此段御届申上候也

年月日

死者家人 姓名 印

親戚 姓名 印

隣保 姓名 印

長官宛

前書之通相違無之候間奥印候也

戸長 姓名 印

衛生委員 姓名 印

○甲第九號 十六年三月六日

本縣地違警罪第一條中第二項第三項第六項第七項第九項第二條中第九項第十項第十

三項第三條中第二項第四條中第一項ヲ刪除シ更ニ左ノ通追加候條此旨布達候事

岐阜縣地違警罪

第一條

十 煙火取締規則ニ違背シタル者

十一 小形旅客汽船取締規則ニ違背シタル者

第二條

十四 禁止セシ季節限内ニ木材ヲ川下ケシタル者

國十四年甲百十七號第
八卷十三類四ニアリ

○甲第十號 十六年三月八日

安八郡ニ係ル縣會議員補欠選舉會ヲ開ク

○甲第拾壹號 十六年三月九日

本年通常縣會本月二十六日開會

○甲第拾貳號 十六年三月十五日

明治十五年(四月)本縣甲第三拾四號同年六月甲第四拾六號同年(十月)甲第七拾六號
ヲ以及布達置候水曾川及揖斐川本支木材川下ケ禁止季節之儀詮議之次第有之更ニ水
曾川本流ヲ除クノ外八十八夜ヨリ秋季彼岸中日マテト改正候條此旨布達候事

國甲三十四號甲四十六號甲七十六
號ハ第二卷三類四十一ニアリ

○甲第拾三號 十六年三月十七日

自家用料ノ爲メ一期壹石ニ超エサル酒類ヲ製造セントスルモノハ明治十五年太政官
第六拾壹號公布酒造稅則附則ノ各條ヲ遵守スヘキハ勿論ナリト雖モ尙ホ細則別冊之
通相定候條此旨布達候事

但本縣明治十四年甲第七拾七號及ヒ甲第百四號明治十五年甲第八拾六號布達ハ廢
止ス

國甲七十七號ハ第三卷五類百二十六、甲百四號
國甲八十六號ハ第三卷五類百二十七ニアリ

自家用料酒製造人酒造細則

第一項 自家用料酒ノ爲メ一家内ニ於テ一期壹石ハ二種以上製造スル者ニ超エサル酒類飲料ニ用ヒ醬油等ニ混和シテ製造セシトスルモノハ第壹號離形ニ倣ヒ其酒類ノ種目及見込ノ石數ヲ記載シ第貳號離形ノ如ク造酒ノ方法書并製造場一區域ノ略繪圖ヲ相添ヘ所轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ届出製造免許鑑札ヲ受クヘシ

但一旦届出ノ後酒類ノ種目石數ヲ増減シ或ハ造酒ノ方法ヲ變換スル時ハ其時々届出ヘシ

第二項 免許鑑札ハ一期(即チ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄)有効ノモノトス故ニ期限ヲ過クレハ直ニ返納スヘシ

第三項 酒類製造ニ用ユル搾リ器械蒸溜器械其他桶瓶類等總テ諸器械ハ造酒着手以前之ヲ取調届出ヘシ爾後新調若クハ届濟ノ器械ヲ破解シ又ハ他ヘ讓渡ス等届書ニ異動ヲ生スルトキハ其時々届出ヘシ

第四項 前項諸器械ノ内桶類ハ左ニ掲クル丈量法及ヒ算則ニヨリ精密取調桶ノ側面ヘ左ノ件々ヲ記載シ置クヘシ(十六年甲六十四號ヲ以本項ヲ追加シ次項ヲ第五項トシ以下線下)但瓶類ハ便宜適實ノ方法ヲ以テ其容量ヲ取調置クヘシ

- 第何號
- 口徑何尺何寸何分
- 胴徑何尺何寸何分
- 底徑何尺何寸何分
- 深サ何尺何寸何分
- 石數何石何斗何升何合
- 明治何年何月何日

丈量法

口徑ヨリ一寸胴徑ノ口底徑ノ底板面ハ孰レモ内測リニテ從横⊕圖ノ如ク度リ下リタル箇所

此縱横徑ヲ和シニテ除キ以テ定ム深サハ其酒桶ノ前宜ノ箇所後其背孰レモ底ヨ
リ口徑迄ノ間ヲ丈量シ此前後ノ尺度ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムヘシ
但尺度ハ孰レモ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ

算則

口洞底ノ三徑ヲ各個自乘シ此三個ヲ和シ之ヲ三ニテ除キ以テ實トス之ニ深ヲ乘シ
又圓積率七八ヲ乘シ而シテ升法六四八ヲ以テ除キ其容量ヲ得ル
但石數ハ合位ニ止メ勻以下切捨ツヘシ

第五項 酒類ノ製造ニ着手セントスルキハ其着手ノ月日ヲ前以テ届出ヘシ

第六項 酒類ノ製造ニ着手スル時ハ第三號雛形ニ倣ヒ酒類製造日誌ヲ製シ其仕込
ル月日并ニ蒸米麴米汲水等ノ石數ヲ記載シ置クヘシ

但焼酎并ニ味淋酒醪焼酎ノ如キハ第四號雛形ニ倣ヒ蒸溜ノ都度記載シ置キ白酒
銘酒ノ如キハ其詳細ヲ記載シ置クヘシ

第七項 前項酒類製成ノ期日ハ前以テ届出製成ノ上ハ第三號雛形日誌中へ清酒ノ石
數及ヒ酒粕ノ貫目ヲ記載シ置クヘシ

但清酒味淋等ハ搾リ上石數滓引ヲナサ
ルモノ白酒濁酒ハもろみノ石數ヲ記載スヘシ

第八項 第一項ヲ除クノ外諸届書等酒造検査期節中ハ該區酒造検査員出張所ニ差出
スヘシ

但検査官員歸縣ノ後ハ直ニ縣廳ニ届出ヘシ

第九項 左ノ件々ニ違背シタル者ハ違警罪ニ據リ處分ス可シ

一 第一項但書第三項第五項第六項第七項ニ背キ届出又ハ記載方ヲ怠リシ者

(第一號)

雛形自家用料酒造鑑札御下渡願

何郡何町何番地

一 清酒何程

戸主何 某

但シ飲料(又ハ何々ニ使用)

(二種以上製造スルモノ
ハ右ニ倣ヒ列記スヘシ)

又ハ
何郡何村何番地住居
何郡何村何番地別居
何 某

右ハ自家用料ノ爲メ本期ニ於テ前書之通製造仕度候間御鑑札御下渡被下度別紙方法
書並繪圖面相添此段奉願候也

年月日

右願人

何 某印

縣令宛

前書之通願上候ニ付與印仕候也

右村戸長

何 某印

(第二號雛形)

造酒方法書

元玄米何程

何郡何村何番地

一清酒何程

何 某

此仕込白米何程

内

蒸米 何程

糴米 何程

汲水 何程

(酒もどヲ買入ル、者ハ此所へ其石數ヲ記載スヘシ)

右造込方法

配仕込 起仕込 中仕込 留仕込 計

十六年甲號

〇九

蒸	米	何	程	何	程	何	程	何	程
糶	米	何	程	何	程	何	程	何	程
汲	水	何	程	何	程	何	程	何	程

(酒もとヲ買入ル、モノハ配仕込ヲ記載スルニ及ハス)
右之通相違無御座候也

年月日

造酒方法書

一鏡耐何程

此元粕何程

此蒸溜法一釜ニ付

酒粕 何程

但一釜何升取

石 何 某 印

糠 何程
右幾釜

右之通相違無御座候也

年月日

(第三號雜形)

酒類製造日誌

何郡何村何番地

何 某

一酒もと何程

明治何年何月何日何國何郡何村何某ヨリ買入

(酒もとヲ買入ル、モノハ斯ノ如ク記載シ幾度ニモ買入ル、モノハ逐次記載スヘシ)

	酒もと	起	中	留	計
仕込月日	何月何日	何月何日	何月何日	何月何日	○
蒸米	何程	何程	何程	何程	何程
麴米	何程	何程	何程	何程	何程
汲水	何程	何程	何程	何程	何程

(酒もとヲ買入ル、モノハ蒸米ノ下欄へ酒もとノ升數ヲ記載スヘシ)

此清酒何程 酒粕何程

(幾度ニモ造込モノハ前ニ倣ヒ逐次記載スヘシ)

(第四號離形)

酒類製造日誌

何郡何町何番地
何某

月日	摘要	元	粕	米	糠	釜	數	燒	耐	下	粕
何月何日	何貫目	何	斗	數	何	何	升	何	何	何	何
、、、	、、、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

(以下幾日ニ蒸溜スルモ此ニ倣ヒ記載スヘシ)

○甲第拾四號 十六年三月廿二日

土岐郡ニ係ル縣會議員補欠選舉會ヲ開ク

○甲第拾五號 十六年三月廿六日

醫藥營業人營業細則別冊之通相定候條此旨布達候事

但明治十四年本縣丙第五號達ハ廢止ス

第十四年丙五號第三卷
第五類百二十七ニアリ

醫麴營業人營業細則

- 第一項 醫麴ヲ製造シテ營業セシト欲シ免許ヲ出願スル願書ニハ製造場一區域ヲ畫キタル略圖ヲ添フヘシ
- 第二項 製造場ハ棟數ニ拘ハラヌ都テ其一區域ヲ以テ一箇所トシ免許鑑札ヲ授與スヘシ
- 第三項 免許鑑札ハ第一號離形ノ如ク調製授與スヘシ
- 第四項 免許鑑札ハ其年一期有効ノモノトス故ニ引續キ營業セシトスルモノハ最初授與シタル鑑札ヲ九月三十日限リ差出シ更ニ翌期ノ免許ヲ請フヘシ
- 第五項 稅則第四條免許ヲ受ケタル時ハ其一期中販賣スヘキ見込ノ石數及ヒ方法書トモ十月三十一日限リ第貳號離形ニ倣ヒ届出ヘシ
- 但一旦届出ノ後見込石數ノ増減ヲナス時ハ其時々届出ヘシ
- 第六項 醫麴ノ製造ニ着手スル時ハ第三號離形ニ倣ヒ製造日誌ヲ製シ仕込ノ都度記入シ置クヘシ

入シ置クヘシ

- 第七項 前項ノ醫麴製成ノ上ハ其都度石數ヲ取調第四號離形ニ倣ヒ届出ヘシ
- 第八項 稅則第五條販賣ノ節記載スヘキ石數並ニ購求者ノ住所姓名及ヒ年月日ハ第五號離形ノ如ク賣上帳ヲ製シ逐次記載シ置キ翌年十月中ニ縣廳ニ差出シ検査ヲ受クヘシ縣廳ニ於テハ調査ノ上之ヲ下戻スヘシ
- 但自カラ行商シ又ハ家族雇人ヲシテ行商セシムル時ハ本項ニ倣ヒ帳簿ヲ製シ行商ノ節必ス之ヲ携帶シ購求者ノ住所姓名及ヒ年月日等遺漏ナク記載シ置クヘシ
- 第九項 前項ノ帳簿ハ營業中之ヲ保存スヘシ
- 第十項 醫麴製造ニ用ユル諸器械ハ製造着手前詳細取調届出ヘシ其種類ハ左ニ掲クル丈量法及ヒ算則ニ依リ精密調査ヲ遂ケ桶ノ側面へ左ノ件々ヲ記載シ其旨届出検査ヲ受クヘシ
- 但一旦届出ノ後其届書ニ増減ヲ生スル時ハ其時々届出ヘシ

第何號

口徑 何尺何寸何分

胴徑

底徑

深

石敷何石何斗何升何合

明治何年何月何日

丈量法

口徑、口頭ヨリ一寸、口底徑、底板面ハ孰レモ内測リニテ縦横⊕圖ノ如ク度リ、
 此縦横徑ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムヘシ、
 但尺度ハ孰モ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ、
 口徑、口頭ヨリ一寸、口底徑、底板面ハ孰レモ内測リニテ縦横⊕圖ノ如ク度リ、
 此縦横徑ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムヘシ、
 但尺度ハ孰モ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ、
 口徑、口頭ヨリ一寸、口底徑、底板面ハ孰レモ内測リニテ縦横⊕圖ノ如ク度リ、
 此縦横徑ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムヘシ、
 但尺度ハ孰モ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ、

此縦横徑ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ム深サハ其酒桶ノ前宜ノ箇所後其背孰レモ
 底ヨリ口徑迄ノ間ヲ丈量シ此前後ノ尺度ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムヘシ
 年甲六十五
 號ヲ以更正
 但尺度ハ孰レモ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ

算則

口胴底ノ三徑ヲ各個ニ自乗シ此三個ヲ和シ之ヲ三ニテ除キ以テ實トス之ニ深ヲ乘
 シ又圓積率 七八 ヲ乘シ而シテ升法 六四八 ヲ以テ除キ其容量ヲ得ル
 但石敷ハ合位ニ止メ勺位以下切捨ツヘシ

第十一項 前項ニ於テ調査シタル桶類ノ調書ハ第六號離形ニ倣ヒ諸器械ノ取調書ト
 同時ニ届出ヘシ

第十二項 稅則第六條免許鑑札ヲ賣買讓與スル時ハ双方連署ノ書面ニ免許鑑札ヲ添
 ヘ書換鑑札ノ下渡ヲ請フヘシ

第十三項 他管下ノ者ハ免許鑑札ヲ賣(讓)渡サントスル時ハ前項ノ手續ニ據リ願出
ヘシ縣廳ニ於テハ其買(讓)受人所在ノ管廳ヘ添翰ヲ作り之ヲ下渡スヘシ

第十四項 他管下ノ者ヨリ免許鑑札ヲ買(讓)受タル時ハ賣(讓)渡人所在管廳ヨリ下
渡シタル添翰ヲ添ヘ書換鑑札ノ下渡ヲ請フヘシ

第十五項 製造場轉換ノ爲メ鑑札書換方他管下ニ交渉スルモノハ前二項ノ手續ニ據
ルヘシ

第十六項 廢業ノ節ハ其旨届出免許鑑札ヲ返納スヘシ

第十七項 稅則第八條戶外ニ掲出スヘキ標札ハ第七號雛形ノ通調製スヘシ

第十八項 第五項ヲ除クノ外諸届書等酒造検査期節中ハ該區酒造検査員出張所ニ差
出スヘシ

但検査官員歸縣ノ後ハ直ニ縣廳ニ届出ヘシ

第十九項 左ノ件々ニ違背シタル者ハ違弊罪ニヨリ處分スヘシ

附則

一 第五項但書第六項第七項及ヒ第十項第十一項ニ背キ届出又ハ記載方ヲ怠リシ者

第一項 罎麴ノ請賣ヲサントスル者ハ其旨届出許可ヲ受クヘシ

第二項 前項許可ヲ受ケタル者ハ第一號雛形ニ倣ヒ標札ヲ調製シ戶外ニ掲出スヘシ

第三項 罎麴ノ買請高及ヒ販賣石數等ハ第二號雛形ノ如ク帳簿ヲ製シ其都度遺漏ナ
ク記載シ置クヘシ

第四項 前項ノ帳簿ハ翌年十月三十一日限リ縣廳ニ差出シ検査ヲ受クヘシ縣廳ニ於
テハ調査ノ上之レヲ下戻スヘシ

第五項 請賣者コレヲ行商スル者ハ第二號雛形ニ倣ヒ帳簿ヲ製シ行商ノ節必ス之ヲ
携帶シ購求者ノ住所姓名及ヒ年月日等遺漏ナク記載シ置クヘシ

但家族又ハ雇人ヲ行商セシムル者モ本項ニヨルヘシ

第六項 罎麴ノ石數及ヒ帳簿倉庫納屋等ハ時トシテ主任官臨檢スヘシ

第七項 左ノ件々ニ違背シタル者ハ違警罪ニ據リ處分スヘシ
 一第一項ニ背キ許可ヲ受ケスシテ醬麴ノ請賣ヲナセシ者
 一第三項第五項ニ背キ帳簿ノ記載方ヲ忘リシ者
 (第壹號雛形)

縣廳押切印

租稅局長ノ割印

第何號

製造場

國郡町村番地

醬麴製造營業免許鑑札

年月日

何縣國郡町村番地

何之誰

免許ノ月日

(第二號雛形)(用紙半紙)

明治何年度一期醬麴製造販賣見込石數並方法書

元玄米何程

何國何郡何町村何番地

一 齧麴製造見込高何程

此仕込白米何程

内

蒸米 何程

外 麴米 何程

汲水 何程

右造込方法

蒸米 何程

麴米 何程

汲水 何程

右造込 第一号ヨリ幾度
第何号マテ

(造込石數ノ異ナル毎ニ前ノ方法ニ倣ヒ列記スヘシ)

何 某

右之通相違無御座候也

年 月 日

縣 令 宛

前書之通御届申上候ニ付奥印仕度候也

右

何 某 印

戶 長

何 某 印

(第三號雛形)(用紙半野紙)

齧麴製造日誌

何郡何町何番地

何 某

仕

込

製

成

順 號 月 日

蒸 米

麴 米

汲 水

月 日

齧 麴 石 數

十六年甲號

〇十六

明治何年醫翹賣上帳

一 醫翹何程

第一號造込何月何日製成

内

何月何日
何程

何郡何町
何

某

(此處へ代金ヲ記載スルモ妨ナシ以下同シ)

何月何日
何程

何郡何町
何

某

殘何程

一 醫翹何程

第二號造込何月何日製成

合何程

内

何月何日

何郡何町

何

某

何程

何月何日

何郡何町

何

某

何程

(以下前ニ同シ)

(第六号雛形)(用紙半野紙)

醫翹製造ニ用ユル桶類取調書

桶番号	口徑	胴徑	低徑	深サ	石數
一 号	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何十何石何斗何升何合
二 号	、、、、	、、、、	、、、、	、、、、	、、、、

(以下幾個アルモ前ニ做フテ記載スヘシ)

右取調候處相違無御座候也

年月日

縣令宛

前書之通御届申上候ニ付與印仕候也

何郡何町何番地

何某印

戶長

何某印

(第七号雜形)

寸法 豎巾曲尺三尺 橫巾曲尺八寸

免許鑑札ノ番号

第何号

齧麴賣捌所

何縣國郡町番地

何某

(附則第一号雛形)

醫 麴 請 買 所

何縣國郡村番地
何 某

(附則第二号雛形)(用紙美濃紙横帳)

明治何年醫麴買請並買上帳

一醫麴何程

何月何日何郡何村何某ヨリ買入

内

何月何日

何程

何郡何町

何

某

(此處へ代金ヲ記載スルモ妨ケナシ以下同シ)

何月何日

何程

何郡何町

何

某

殘 何 程

一醫麴何程

何月何日何郡何村何某ヨリ買入

合 何 程

内

何月何日
何程

何郡何町

何

某

何月何日
何程

何郡何村

何 某

(以下前ニ同シ)

○甲第十六號 十六年三月廿六日

明治十五年(四月)本縣甲第三十一號布達醫務概則中左之通更正候條此旨布達候事

第二條 (履歷書)ノ下(ニ卒業證書或ハ教師ノ證書)ヲ(及教師ノ證書或ハ卒業書)ニ

改ム

○甲第十七號 十六年三月廿六日

○甲第十七號 十六年三月廿六日

明治十五年(九月)本縣甲第六十三號布達警察區域ノ内左ノ通改正廢置候條此旨布達

候事

○甲第十五號 十六年三月廿六日

一 岐阜警察署所轄美濃國厚見郡新加納村巡查交番所ヲ同國各務郡鵜沼村ニ移シ新加納分署鵜沼巡查交番所ト稱ス

一 岐阜警察署所轄美濃國各務郡鵜沼村鵜沼分署ヲ同國厚見郡新加納村ニ移シ新加納分署ト稱ス

一 高須警察署今尾分署所轄美濃國安八郡大藪村巡查交番所ヲ廢ス

一 關警察署金山分署所轄ノ内美濃國郡上郡小那比、岩瀬、乙原、卯野原、弓掛、祖師野、

戸部、東沓部ノ八ヶ村及ヒ同警察署上有知分署所轄ノ内同郡上田、大原ノ二ヶ村ヲ

割キ更ニ八幡警察署所轄トス

○甲第十八號 十六年三月廿六日

篆刻師印判師取締規則左ノ通相定候條此旨布達候事

篆刻師印判師取締規則

第一條 篆刻及ヒ印判彫刻ヲ營業トスル者ハ此規則ヲ遵守スヘシ其他何人ニテモ第

二條第三條ニ掲ゲタル印判ヲ彫刻スル者亦本則ニ照準ス

第二條 諸官署及ヒ戸長役場印官名アル印類トモノ彫刻ハ必ス其官署ノ主任者ヨリ直ニ注文

ヲ受クルモノトス若シ使ト稱シ注文シ來ル者アレハ其實否ヲ本衙ニ問合セ疑敷廉アラハ速ニ警察官吏ニ密告スヘシ

但戸長役場印ハ郡役所ヨリ注文シ役場ヨリ直チニ注文アルコトナシ

第三條 人民私ノ實印檢印會社印又ハ店判仕切判ノ類總テ權利義務ニ關シ証憑ト爲ルヘキ印判彫刻ノ注文アル片ハ其本人ノ住所職業氏名ヲ必注文帳ニ詳記シ竣工ノ上ハ印影一葉ヲ殘シ印譜ニ貼置ヘシ若シ疑敷廉アラハ速ニ警察官吏ニ密告スヘシ

第四條 若シ印影ヲ以テ扣印ヲ注文シ來ルコトアル片ハ字畫又ハ邊線ノ内稍々點畫ヲ換ヘ他日鑑定ノ目標ヲ付ケ置クヘシ

第五條 印面ノ上半又ハ下半或ハ左右半面ノ類總テ印面ノ全体ヲ欠キタル彫刻ヲ注文スル者アル時ハ之ニ肯セサルヘシ若シ強テ依頼スル者アレハ警察官吏ニ密告ノ

其指揮ニ從フヘシ

第六條 此規則ニ違背シタル者ハ違警罪トシテ處罰ス

○甲第十九號 十六年三月廿六日

管内約束郵便方法驛遞局ト結約之上左之通相定本年四月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

第一條 一左ニ記載スル公用郵便物ハ一管内往復ヲ限リ郵便切手ヲ貼付セサルモノトス

- 一 縣廳
- 一 警察署
- 一 監獄署
- 一 郡役所
- 一 右廳衙ニ屬スル廳衙
- 一 右廳衙ノ吏員郡長郡書記并郡衙御用掛及雇(十六年甲五十一號ヲ以本項并第二項未段追加)
- 一 縣立學校
- 一 同病院
- 一 同諸勸業場事務所

ノ問互ニ往復スルモ

右縣立學校病院諸勸業場事務所ノ吏員

戶長役場

浦役場

縣會

常置委員會

戶長

浦役人

縣會議員

常置委員

縣廳

警察署

監獄署

郡役所

右廳衙ニ屬スル廳衙

縣立學校

同病院

同諸勸業場事務所

以上各所ノ派出吏員

ヨリ始
審治安
輕罪違
輕罪裁
判所及
凡人民
へ達ス
ルモノ

第二條 一第一條ニ掲載スルモノ、他ハ總テ郵便切手ヲ貼付スルモノトス
第三條 一第一條ニ掲載スル公用郵便物即チ郵便切手ヲ貼付セサルモノト雖モ書留
手數料別配達料ハ切手ヲ貼付シ前納スルニ限ルヘシ
第四條 一第一條ニ掲載スル公用郵便物ハ一個毎ニ表面ニ公用ノ二字ヲ朱記シアル

ニ依リ此文字ヲ目的トシ差立局於テ稅濟ノ印ヲ捺押シ遞送又ハ配達スヘシ若シ差
立局於テ稅濟ノ印脱落アルハハ配達局ニテ捺押スヘシ
但稅濟ノ印ハ黒肉ヲ用フヘシ

第五條 一第一條ニ掲載スル公用郵便物ハ廳衙名ヲ記シ或ハ官名役名及ヒ其氏名ヲ
併記シ又ハ廳衙名ト課名若シクハ掛名トチ併記シタルモノニ限ルヘシ
第六條 一郵便物ニ公用ノ文字朱記無之カ或ハ第五條之記載方チナサルモノハ一
般郵便物未納稅ノ例ニ依リ切手ヲ貼付シ收稅スヘシ
但差立局於テ誤テ稅濟ノ印ヲ捺押シタルモノハ配達局於テ本條ニ照シ取扱フヘシ

第七條 一公用郵便物ノ遞送集配ハ一般郵便物ト併セテ之ヲ爲スヘシ
第八條 一前條々ニ掲載スルノ外公用郵便物取扱方ハ一般郵便物同様タルヘシ

○甲第二十號 十六年三月廿八日

大野郡ニ係ル縣會議員補欠撰學會ヲ開ク

○甲第二十一號 十六年三月三十一日

虎列刺病者有之候節ハ主任醫ニ於テ別紙書式ニ據リ逐一取調書面正副ニ通テ製シ其
都度町村衛生委員ハ差出スルハ此旨希達候事

(料紙半紙)

(十六年甲五十二號ヲ以書式) 首欄醫ヲ衛生委員ト改ム

記載ノ解

問答ノ體ヲ上下ニ列示シタル
ハ記載ニ便ナラシメタル者ニ
シ其法ハ例ヘハ第一項郡區町
村トアルニ某郡某村ニテ發セ
シ者ナレハ町ノ一字ヲ塗抹シ
又某區某町ニテ發セシ者ナレ
ハ村ノ一字ヲ塗抹スルカ如シ
他ノ項目モ亦之ニ倣フヘシ
(一) 郡町村番地ハ本籍寄留ニ
拘ラス本人現住ノ地名ヲ記
入シ又職業ハ各本人ノ現業
ヲ明記シ例ヘハ農業主(農
ニシテ自ラ勞役セサル者)ト
自ラ耕作スル者トナ區別シ

虎列刺病者取調書

國郡町(村)
衛生委員

姓名印

郡區町村 番地

(一) 職 男 姓
業 女 名

(二) 發病ハ何日何時頃ナレカ

(三) 發病ノ場所ハ如何

(四) 體格ハ如何

(五) 婚姻セシヤ

(六) 發病前ニ罹リタル病ハ無キヤ

(七) 常ニ虎列刺病ヲ甚シク
畏ル、性ナルカ

(八) 發病ノ誘因ハ如何

(九) 前年其住家ニ同病患者
アリシヤ

(十) 前年家族中ニ同病患者
アリシヤ

(十一) 同病多ク地ニ行キシコトアリヤ

月	日	年	時	郡	區	町	村	番地	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無
未	既	有	無	強	弱	強	弱	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	

又婦女老幼等ニシテ職業ナキ者ハ戶主何職業ト記スヘシ	(十二) 家内ニ同病患者アリヤ	有同時以前無
(一) 發病ハ醫師ノ診斷時日ニ拘ラス發病シタル時日ヲ記入スヘシ	(十三) 近隣ニ同病患者アリヤ	有同時以前無
(二) 發病ノ場所ハ其發シタル郡町村名ヲ記シ自宅ナレハ自宅旅籠屋ナレハ旅籠屋學校ナレハ學校途上ナレハ途上等ト明記スヘシ	(十四) 同病患者又ハ其汚物等ニ觸接セシヤ	觸 不觸
(三) 發病ノ場所ハ其發シタル郡町村名ヲ記シ自宅ナレハ自宅旅籠屋ナレハ旅籠屋學校ナレハ學校途上ナレハ途上等ト明記スヘシ	(十五) 暮シ方ハ如何	上 中 下
(四) 發病ノ誘因ハ例ヘハ不食若クハ過度ノ飲食並其品名或ハ非常勞動等渾テ其誘因ト認ムル者ヲ記入スヘシ若シ無キ片ハ記入ニ及ハス	(十六) 住家及其向ハ如何	裏 一戶建裏長屋東西南北
(五) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(十七) 間數並現在人ノ數ハ如何	四間以上 三間以下 八疊
(六) 發病ノ誘因ハ例ヘハ不食若クハ過度ノ飲食並其品名或ハ非常勞動等渾テ其誘因ト認ムル者ヲ記入スヘシ若シ無キ片ハ記入ニ及ハス	(十八) 家屋ハ清潔ナリヤ	清潔 不潔
(七) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(十九) 飲料水ハ如何	上水 河水 掘貫井 一家用 共用 掘貫井 一家用 共用
(八) 發病ノ誘因ハ例ヘハ不食若クハ過度ノ飲食並其品名或ハ非常勞動等渾テ其誘因ト認ムル者ヲ記入スヘシ若シ無キ片ハ記入ニ及ハス	(二十) 同一ノ飲料水ヲ用テ者ニ同病ニ罹リシ者ナキヤ	有 無
(九) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(二十一) 便所ハ如何	一家用 總雪隠
(十) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(二十二) 同一ノ便所ヘ同病患者ノ行キシト無キヤ	有 無
(十一) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(二十三) 下水ハ如何	通 阻
(十二) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(二十四) 近傍ノ潔否及燥濕ハ如何	清潔 不潔 燥濕
(十三) 三間以下ナレハ疊數並現住人ノ數ヲ記入シ四間以上ナレハ記入ニ及ハス	(二十五) 療養ノ場所ハ如何	自宅 病院

○甲第貳拾貳號 十六年三月卅一日

益田郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第貳拾三號 十六年四月九日

明治十四年度地方稅支出決算不足補充費今般通常縣會ノ決議ヲ經左ノ通施行候條此旨布達候事

明治十四年度地方稅支出決算不足補充費

一金貳千六百八拾五圓七拾錢七厘

警察費

一金五百九圓九拾錢三厘

管内限諸達書及揭示諸費

合計金三千百九拾五圓六拾壹錢

以上ノ費目決算ニ至リ不足セシニヨリ更ニ同年度他ノ殘餘ヲ以テ補充スヘシ

○甲第貳拾四號 十六年四月二十日

明治十四年(八月)本縣甲第九拾號達本縣學務委員薦舉規則中左之通改正候條此旨布

達候事

第一條第二款文中懲役云々ノ上ニ(舊法ニ依リ)五字ヲ加ヘ且同款中(七年)ヲ(五年)ト改ム

同條第三款全文ヲ(新法ニ依リ剝奪公權若クハ停止公權ノ者又ハ輕重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後未タ五年ヲ經サル者)ト改ム

○甲第二十五號 十六年四月廿五日

農學校通則別冊之通相定候旨文部省ヨリ達有之候條此旨布達候事

農學校通則

第一章 總則

第一條

農學校ハ此通則ニ遵ヒ農ノ學業ヲ教授スル處トス

第二條 農學校ハ之ヲ分テ第一第二ノ二種トス第一種ハ主トシテ躬ヲ善ク農業ヲ操

ルヘキ者ヲ養成スル爲メ上款ニ遵ヒ之ヲ設置スルモノトス第二種ハ主トシテ善ク

農業ヲ處理スヘキ者ヲ養成スル爲メ下款ニ遵ヒ之ヲ設置スルモノトス

第三條 農學校ニ於テハ殊ニ本邦ノ農事ニ就キ第一種ハ主トシテ實業ヲ授ケ第二種

ハ學理ト實業トヲ并ヒ授クルヲ要ス且實驗ノ用ニ供スルニ足ルヘキ田圃等ノ準備

アルヲ要ス

上 款

第二章 學科目

第四條 第一種農學校ノ學科ハ左ニ掲クル諸目トス

- | | | |
|----|------|------|
| 修身 | 算術幾何 | 物理 |
| 化學 | 動植物 | 耕種 |
| 養畜 | 農業經濟 | 農業簿記 |

但土地ノ情況ニ由リ本文某科目ノ程度ヲ斟酌シ若クハ斟酌セシメテ特ニ園藝、

森林、開墾、養蠶、養魚、桑、茶、綿、麻、楮、藍、漆、櫨、甘蔗、蘆粟、葡萄、煙草等ノ
耕種法、製茶法、製糖法、農產物貯法、肥料製造法等ノ某科目ヲ置クヲ得

第三章 修業年限日數及時數

第五條 第一種農學校ノ修業年限ハ二個年トス

但此年限ヲ一年以内増加スルヲ得

第六條 第一種農學校ノ授業日數ハ少クトモ毎年三十二週ヲ下ルヘカラス

第七條 第一種農學校ノ授業時間ハ毎週講學十二時實習三十時ヲ以テ度トス

但毎週講學及實習時間ハ修業年限ニ通シ相斟酌シテ之ヲ定ムルヲアルヘシ

第四章 入學生徒ノ資格

第八條 第一種農學校ニ入學スル生徒ハ品行善良體質強健ニシテ年齢十五年以上トス

第九條 第一種農學校ニ入學スル生徒ハ小學中等科卒業ノ學力ヲ有スル者若クハ少

クトモ左ニ掲グル科目ニ就テ小學中等科ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

讀 書 算 術

第五章 教員ノ資格、員數

第十條 第一種農學校ノ教員中少クトモ一名ハ文部卿ノ認可ヲ經タル者ヲ以テ之ニ
充テ主トシテ重要ノ學科目ヲ擔任セシムヘシ

下 款

第六章 學科目

第十一條 第二種農學校ノ學科ハ左ニ掲グル諸目トス

修 身	代數幾何、三角法	圖 畫
物 理 學	化 學	動 物 學
植 物 學	地 質 學	農 用 化 學
農 用 工 學	耕 種	養 畜
農 業 經 濟	農 業 簿 記	農 事 法 規

但土地ノ情况ニ由リ本文某科目ノ程度ヲ斟酌シ若シクハ斟酌セズン特ニ園藝、森林、開墾、獸醫、昆蟲學等ノ某科目ヲ置キ又養蠶、養魚、桑、茶、綿、麻、楮、藍、漆、檀、甘蔗、蘆粟、葡萄、烟草等ノ耕種法、製茶法、製糖法、農產貯貯法、肥料製造法等ノ某科目ヲ置クヲ得

第七章 修業年限、日數及時數

第十二條 第二種農學校ノ修業年限ハ三箇年トス

但此年限ヲ一年以内増加スルヲ得

第十三條 第二種農學校ノ授業日數ハ第六條ニ準ス

第十四條 第二種農學校ノ授業時間ハ每週講學及實習各十八時ヲ以テ度トス

但每週講學及實習時間ハ修業年限ニ通シ相斟酌シテ之ヲ定ムルヲアルヘシ

第八章 入學生徒ノ資格

第十五條 第二種農學校ニ入學スル生徒ハ品行善良體質強健ニシテ年齡十六年以上

トス

第十六條 第二種農學校ニ入學スル生徒ハ初等中學科卒業ノ學力ヲ有スル者若クハ少クモ左ニ掲クル科目ニ就テ初等中學科ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

和漢文

算術幾何

地理

物理

第九章 教員ノ資格、員數

第十七條 第二種農學校ノ教員中少クモ二名ハ第十條ニ準ス

○甲第貳拾六號 十六年四月廿五日

岐阜縣華陽學校内ニ附屬書籍館ヲ設置シ該規則別紙之通相定候條此旨布達候事

岐阜縣華陽學校附屬書籍館規則

書籍館ニ來リ圖書ヲ求覽スル者ハ此規則ヲ遵守スヘシ

第一條 圖書ヲ求覽スル者ハ本縣管内ノ者ニシテ此規則ニヨル片ハ何人ニ限ラヌ登

館シテ適意ノ圖書ヲ展スルコトヲ得

第二條 本館毎日開閉ハ本校教授時間ト異ナルコトナシ其休日モ亦本校ニ準ス

但夏秋曝書ノ際ハ閉室スル者トス

第三條 圖書類ハ校外へ携出スルヲ禁スト雖校長ノ特許ヲ得ル者ハ此限りニアラス

第四條 圖書ヲ求覽スル者ハ其書名及自己ノ姓名住所ヲ記シ其掛リへ出スヘシ

第五條 校長ノ特許シテ圖書ヲ貸與スル者ハ縣官郡吏縣立學校教員其他教育上ニ裨

補アリト認メタル者ニシテ特別ノ需用ニ供スル爲メ借受セントスル者ニ限ルヘシ

第六條 校長ノ特許ヲ得テ圖書ヲ借受スル者ハ其書名部數及姓名住所等ヲ記載シ捺

印シテ之ヲ其掛リへ出シ書籍ヲ受取ルヘシ

但還納ノ年月日ヲ記入スルモノトス

第七條 圖書ヲ借受セント欲セハ縣官郡吏縣立學校教員ハ主任者ヨリ照會シ其他ハ

本人保證人連署シテ特許ヲ請フ可シ

第八條 校長ノ特許ヲ得テ借受スル書籍ハ一回ニ部數和漢籍翻譯書ハ二部洋書ハ一部ヨリ多カルヘカラス

第九條 圖書借受ノ期限ヲ四週日間ト定ム期限ニ至レハ必ス之ヲ還納スヘシ

但期限内ト雖曝書ノ期ニ至レハ還納スヘシ

第十條 館内ニ在リテハ朗讀ヲ禁シ且雜談吸煙ヲ禁ス

第十一條 求覽者借受シタル圖書ハ校内ニアリテ謄寫スルモ妨ケナシ

第十二條 書籍ヲ借受シ若シ失亡シ或ハ點汚敗損スルキハ同様ノ書籍ヲ購ヒ或ハ相

當ノ代金ヲ辨償セシム該件未了ノ間ハ更ニ他ノ書籍ヲ求覽借受スルコトヲ得ス

第十三條 本館へ書籍及金額等ヲ寄付セント欲スル者ハ其願書等本館其掛リへ差出

スモノトス

(書籍目錄畧ス)

○甲第貳拾七號 十六年四月廿七日

明治十四年度地方稅收支精算左之通ニ候條此旨布達候事

明治十四年度地方稅精算書

收入之部

一金貳拾四萬五千貳百四拾圓九拾五錢七厘
 一金三萬貳千四百拾九圓九拾錢
 一金四萬千四拾三圓九拾五錢五厘
 一金千五拾八圓七錢五厘
 一金五萬三千六百八拾壹圓四拾六錢
 一金貳萬千拾九圓三拾四錢貳厘
 一金壹萬五千貳百五拾六圓七拾九錢六厘
 一金壹萬四千九百三拾貳圓四拾七錢五厘
 一金七千八百八圓九拾七錢九厘
 合計金四拾四萬千七百六拾壹圓九拾三錢九厘

地租三分一以內

營業稅

雜種稅

漁業稅

戶數割

雜收入

前々年度ヨリ操越高

前年度ヨリ操越高

國庫下渡金

支出之部

一金七萬貳千六百九拾六圓八拾貳錢壹厘
 內
 金五萬五千九百貳拾圓六拾三錢貳厘
 金壹萬六千七百七拾六圓拾八錢九厘
 內譯
 金三萬三千六百六拾五圓
 金貳萬貳千九百八拾四圓貳拾五錢
 金壹萬七百拾圓五拾九錢壹厘
 金五千三百三拾六圓九拾八錢
 一金七萬八千四百貳圓三拾四錢壹厘
 內譯

警察費

地方稅

國庫下渡金

俸給

雜給

廳費

建築修繕費

土木費

金壹萬五千貳百拾六圓八拾七錢六厘
金六萬三千百八拾五圓四拾六錢五厘
一金七千九百四拾八圓七拾錢七厘

道路橋梁費
治水堤防費
縣會議諸費

內譯

金貳千九百五拾八圓七拾五錢
金三千九百六拾四圓五拾八錢
金千貳拾五圓三拾七錢七厘
一金八千四百貳拾八圓拾六錢八厘

俸給
雜給
雜費
衛生及病院費

內譯

金千六百三圓四拾四錢六厘
金六千八百貳拾四圓七拾貳錢貳厘
一金四萬三千七百七圓六拾壹錢三厘

衛生費
病院費
教育費

內譯

金八千七百七拾五圓五拾七錢九厘
金千七百拾貳圓貳拾四錢壹厘
金三千百五圓貳拾九錢七厘
金六千六百四拾七圓貳拾五錢六厘
金貳萬三千四百六拾七圓貳拾四錢
一金六百貳拾圓四拾九錢壹厘

華陽學校費
女學校費
醫學校費
農學校費
小學校補助費
郡廳舍建築修繕費

內譯

金六百貳拾圓四拾九錢壹厘
一金五萬四千三百五拾九圓四拾錢三厘

郡吏員給料旅費及廳中諸費

內譯

金三萬五千八百九拾貳圓三拾六錢九厘

俸給

金九千六百六拾貳圓貳拾六錢

雜給

金八千八百四圓七拾七錢四厘

廳費

一金百三拾壹圓九拾錢七厘

教育費

一金三千六百貳圓九拾錢三厘

管內限諸達書及揭示諸費

內譯

金三千五百八拾貳圓七拾四錢八厘

諸達書費

金貳拾圓拾五錢五厘

揭示諸費

一金五千九百三拾圓三拾三錢

勸業費

一金八万九千百拾貳圓三拾錢六厘

戶長以下給料及戶長職務取扱諸費

內譯

金五萬五百七拾八圓四拾六錢七厘

俸給

金九千貳百九拾圓拾錢

雜給

金貳萬九千貳百四拾三圓七拾三錢九厘

廳費

一金七百九拾圓五拾錢五厘

地方稅取扱費

一金七百五拾四圓五拾貳錢六厘

縣廳舍建築修繕費

內譯

金七百五拾四圓五拾貳錢六厘

修繕費

一金三萬六千五百五拾壹圓五拾四錢五厘

縣監獄費

內譯

金三千四百三拾六圓拾八錢

俸給

金八千八百拾貳圓拾錢五厘

雜給

金貳千七百六拾八圓貳拾五錢五厘

廳費

金千九百六拾壹圓三拾三錢三厘

未決囚諸費

金壹萬九千五百七拾三圓六拾七錢貳厘

已決囚諸費

一金四千四百四拾四圓七拾錢貳厘

縣監獄建築修繕費

內譯

金三千八拾四圓八拾錢八厘

建築費

金千三百五拾九圓八拾九錢四厘

修繕費

一金五拾六圓八拾三錢九厘

雜出

內譯

金五拾六圓八拾三錢九厘

缺損金

合計金四拾萬七千五百三拾九圓拾錢七厘

殘額之部

一金三萬四千貳百貳拾貳圓八拾三錢貳厘

內譯

金三萬三千八百九拾圓四錢貳厘

地方稅十六年度へ操越高

金三百三拾貳圓七拾九錢

國庫下渡金

○甲第二十八號 十六年四月廿七日

明治十四年度地方稅準備金精算左之通ニ候條此旨布達候事

明治十四年度地方稅準備金精算書

收入之部

一金五千三百三拾九圓

貸付金利子

支出之部 無シ

殘額之部

一金五千三百三拾九圓

十五年度へ越高

○甲第二十九號 十六年四月廿七日

明治十四年度備荒儲蓄金收支精算左之通ニ候條此旨布達候事

明治十四年度備荒儲蓄金精算書

收入之部

一金貳萬三千六百八拾三圓八拾七錢八厘
 一金貳萬三千貳百七拾三圓六拾七錢貳厘
 一金貳萬三千百六拾壹圓
 一金拾壹圓九拾七錢八厘
 一金貳千九百四拾三圓貳錢五厘
 一金千四百九拾八圓八拾五錢三厘
 一金貳萬八千五百拾七圓七拾六錢三厘
 一金貳百貳拾四圓六拾五錢
 一金三圓九拾四錢九厘
 合計金拾萬三千三百拾八圓七拾六錢八厘

前年度ヨリ越高

公儲金

配付金

米穀賣却益金

公債證書利子

預金利子

米穀賣却代

倉庫賣却代

雜収

支出之部

一金四千貳百拾四圓四拾六錢貳厘

罹災救助

內譯

金七百七拾九圓六拾錢四厘

火災救助

金貳千貳百三拾九圓四拾八錢五厘

水災救助

金千百九拾五圓三拾七錢三厘

風災救助

一金貳萬八千五百拾七圓七拾六錢三厘

米穀買入代

一金百五拾圓貳拾八錢五厘

藏敷料

一金三萬九千四百拾五圓七拾七錢五厘

公債證書買入代

一金七千百五拾六圓七拾貳錢貳厘

米穀賣却損金

一金百八拾壹圓四拾八錢七厘

雜出

合計金七萬九千六百三拾六圓四拾九錢六厘

殘額之部

一金六萬三千九拾八圓四錢七厘

十五年度へ越高

内譯

金六萬三千六拾七圓八拾九錢五厘

公債證書

此公債證書額面八萬九千百六拾五圓

金三拾圓拾五錢貳厘

現金

○甲第三十號 十六年四月廿八日

美濃國諸川并飛騨國益田川流域諸山於テ燒畑或ハ木草肥饒ノ爲火入致シ候儀有之候處右ハ十三年本縣甲第四號布達ニ準シ可伺出此旨布達候事

○甲第三十一號 十六年四月廿八日

照三類二十一ニアリ

賣藥營業人 營業者、請賣 心得書別紙之通相定候條此旨布達候事

賣藥營業人 營業者、請賣 心得書 (十七年甲四十一號ヲ以第四條、第九條、第十條、第十一條中削除)

第一條 賣藥營業人ハ明治十年(二月)第七號布告賣藥規則及同十五年(十月)第五十

一號布告賣藥印紙稅規則ヲ遵守スヘキハ勿論尙ホ左ノ條々ヲ遵守スヘシ

第二條 營業人疾病又ハ不在等事故アル所ハ營業熟知ノ代理人ヲ撰ミ臨檢ノ際出張

檢査員ニ申出ツヘシ

第三條 賣藥營業者ハ左ノ件々ノ檢査ヲ受クヘシ

一 免許鑑札

一 製藥場及藥品貯藏ノ場所

一 製藥ニ配劑スヘキ原素ノ諸藥品買入高及ヒ其遣拂殘數

一 配劑藥品及ヒ調製法

一 製藥器械

一 賣藥製造高

一 裝置濟 印紙貼用ノ賣藥 定價記載

一賣藥賣捌高

一賣藥現存高

一印紙買入高貼用高及殘數

一賣藥請賣者又ハ行商者トノ間ニ關スル諸帳簿諸書類

第四條 賣藥請賣者行商者ハ左ノ件々ノ検査ヲ受クヘシ

一免許鑑札

一賣藥買入行商ハ高

一賣藥賣捌帳

一賣藥現存高

第五條 前條ノ外營業人所用ノ諸帳簿又ハ建物諸器械等検査スルコアルヘシ

第六條 行商者携帯ノ鑑札及帳簿又ハ貼用印紙ノ當否等ハ場所ノ何レニ拘ハラス檢

査ヲ受クヘシ

但他管下ヘ行商スルモノハ其地方管廳検査官ノ検査ヲ受クヘシ (十六年甲六十號) ヲ以但書追加

第七條 請賣者行商者ニ於テ若シ貼用印紙ヲ破壊シタル片ハ直ニ營業者ヘ送附シ更

ニ印紙ヲ貼用セシムヘシ

第八條 營業者ハ豫メ左ノ帳簿ヲ製シ詳細記載シ置クヘシ

一免許藥劑元帳

一藥品買入遣拂帳

一製藥器械取調帳

一賣藥製造高元帳

一賣藥賣捌帳

一賣藥印紙買入遣拂帳

第九條 請賣者ハ豫メ左ノ帳簿ヲ製シ詳細記載シ置クヘシ

一賣藥買入帳

一、賣藥賣捌帳

第十條 營業者又ハ請賣者自ラ行商シ又ハ家族雇人ナシテ行商セシムル者ハ豫メ左ノ帳簿ヲ製シ詳細記載シ置クヘシ

但帳簿ハ行商ノ節必ラス之ヲ携帯スヘシ

一賣藥元受帳

一賣藥賣捌帳

第十一條 第八條第九條第十條ニ掲クル帳簿書式左ノ如シ

營業者帳簿書式

一免許藥劑元帳(用紙美濃紙豎帳)

此帳簿ハ免許ヲ受タル年月日藥名藥味分量服量功能等免許願書式ニ倣ヒ記載シ且請賣者行商者ノ住所姓名ヲモ記載シ置クヘシ

一藥品買入帳(用紙美濃紙橫帳) 藥舖ニテ製藥ヲ兼業スルヨノハ別ニ「藥種賣捌帳」ヲ製シ單味賣捌ノ分ノミヲ記載シ置クヘシ

買入之部 藥舖ニテ製藥ヲ兼業スルモノハ製藥ニ使用スル分ト單味賣捌ノ分トニ拘ハラヌ都テ買入ノ部ヘ記載スヘシ

何年何月何日何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地何某ヨリ買入一何々
藥品一味毎ニ記載ス 若干
(此所ニ代金ヲ記載スルモ妨ケナシ)

同上

一何々

若干

同上

一何々

若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ左ノ如ク合計ヲ付スヘシ)

何々若干

合計 何々若干

何々若干

遣拂之部

何年何月何日何々丸(免許ノ藥名)配伍、何年何月何日買入ノ分

一何々(製藥ニ配伍スヘキ原素)

若干

一何々(ノ藥品一味毎ニ記載ス)

若干

何年何月何日何々湯ニ配伍、何年何月何日買入ノ分

一何々

若干

一何々

若干

同上

一何々

若干

一何々

若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

一製藥器械取調帳(用紙美濃紙横帳)

此帳簿ハ製藥ノ爲メ使用スル諸器械ヲ明細ニ記載シ置クヘシ

一賣藥製造高元帳(用紙美濃紙横帳)(藥劑一方毎ニ口ヲ分テ記載スヘシ)

何年何月何日製造

一何々丸

若干貼

但定價若干

(裝置ノ大中小アルモノ又ハ定價ノ異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

大若干貼

定價若干

中若干貼

定價若干

小若干貼

定價若干

同上

一何々膏

若干

同上

一何々丹

若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

一賣藥買捌帳(用紙美濃紙横帳)

卸賣之部

何年何月何日何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地何某へ賣渡ス

一何々丸

若干貼

但定價若干

(裝置ノ大中小アルモノ又ハ定價ノ異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

大若干貼

定價若干

中若干貼

定價若干

小若干貼

定價若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

小賣之部

何年何月何日

一何々湯

若干貼

但定價若干

(裝置ノ大中小アルモノ又ハ定價ノ異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

大若干貼

定價若干

中若干貼

定價若干

小若干貼

定價若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

一賣藥印紙買入帳(用紙美濃紙横帳)

買入之部

何年何月何日印紙賣捌人何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地何某ヨリ買入
一賣藥印紙若干枚
代價何程

但何厘角形(長形)

(印紙ノ種類異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

若干枚

何厘角形(長形)

若干枚

何錢角形(長形)

若干枚

何錢角形(長形)

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

遣拂之部

何年何月何日

一賣藥印紙若干

何藥ニ貼用
但何厘角形(長形)

(印紙ノ種類異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

若干枚

何厘角形(長形)

若干枚

何錢角形(長形)

若干枚

何錢角形(長形)

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲナスヘシ)

請賣者帳簿書式

一賣藥買入帳(用紙美濃紙横帳)

何年何月何日賣藥營業者何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地何某ヨリ買入

一何々丸

若干貼

但定價若干

(此所ニ代金ヲ記載スルモ妨ケナシ以下内書モ同シ)

(装置ノ大中小アルモノ又ハ定價ノ異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

大若干貼

定價若干

中若干貼

定價若干

小若干貼

定價若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

一賣藥賣捌帳(用紙美濃紙横帳)

此帳簿ハ營業者「賣藥賣捌帳」書式小賣ノ部ニ同シ

行商者帳簿書式

一賣藥元受帳(用紙美濃紙横帳)

何年何月何日賣藥營業者(賣藥請買者)何府(縣)何郡(區)何町(村)何某ヨリ元受

一何々丸

若干貼

但定價若干

(装置ノ大中小アルモノ又ハ定價ノ異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

大若干貼

定價若干

中若干貼

定價若干

小若干貼

定價若干

(以下倣之一ヶ月毎ニ合計ヲ付スヘシ)

一賣藥賣捌帳

此帳簿ハ營業者「賣藥賣捌帳」書式小賣ノ部ニ同シ

○甲第三十二號 十六年五月廿二日

遊業取締規則中左之通改正刪除シ來ル七月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

但從前警察署ニテ願受タル鑑札ハ返納シ更ニ所轄郡役所ヨリ願受クヘシ
獨遊業取締規則ハ
照第八卷十三類二十一ノアリ

遊業取締規則中

第三條(改正)此遊業遊覽物ヲ除クヲ營業スル者及ヒ遊業師匠手踊ノ師匠共藝妓幫間營業者ハ地方
稅ヲ徵收スル爲メ別段布達スル處ノ規則ニ照シテ營業鑑札ヲ受ケ營業スル場所ヘ
ハ必ス之ヲ携フヘシ其鑑札ニ記載セサル藝名ハ總テ公稱スルヲ得ス
此鑑札ヲ貸借讓與シ又ハ鑑札ニ記載シタル以外ノ事ヲ營ミ又ハ無鑑札ニテ此遊業
ヲ營ムコトヲ許サス

(第七條末ヘ左ノ文字ヲ加ヘテ第二項トス)

藝妓音曲ヲ取リ又ハ歌舞スルハ日出ヨリ午后十二時迄ニ限ル且ツ藝妓ハ料理店飲
食店等ニ宿泊スルヲ得ス

第十六條(改正)遊技場ハ別ニ開場ヲ願フニ及ハス總テ遊技ハ富籤又ハ賭博ニ類似ス

ル方法ヲ用ユルコトヲ得ス其名稱ノ何タルヲ問ハス實際ノ方法不良ト認ムルモノハ
營業鑑札ヲ取揚クヘシ

(第十七條第十八條第二十三條第三十二條及ヒ附則第一項ノ但書并ニ第二項刪除)

第三十一條(改正)此規則ニ違背シタル者ハ違警罪トシテ處罰シ仍ホ情狀ニ因リ其與
行開張或ハ營業ヲ停止スルコトアルヘシ

○甲第三十三號 十六年五月廿三日

明治十六年度地方稅收出豫算通常縣會ノ決議ヲ經左ノ通相定候條此旨布達候事

明治十六年度地方稅收出豫算書

收入之部

一金貳拾壹萬千七百七拾四圓八拾壹錢四厘	地租三分一以內
一金七萬三千四百八圓	營業稅
一金三萬六千五百七拾貳圓六拾錢壹厘	雜種稅

一金五萬四千四百四圓九拾貳錢

戶數割

一金壹萬八千五百圓

雜收入

一金三萬三千八百九拾圓四錢貳厘

前々年度ヨリ繰越高

一金壹萬六千七百三拾圓五拾三錢八厘

國庫下渡金

合計金四拾四萬四千三百八拾圓九拾壹錢五厘

支出之部

一金六萬九千九百壹圓

警察費

內 金五萬三千七百七拾圓

地方稅

內 金壹萬六千三百三拾壹圓

國庫下渡金

內 譯

金三萬五千八百六拾四圓

俸給

金貳萬六千三百三拾四圓

雜給

金壹萬三千四百三圓

廳費

一金貳千五百九拾八圓

警察廳舍建築修繕費

內 金千九百九拾八圓四拾六錢貳厘

地方稅

內 金五百九拾九圓五拾三錢八厘

國庫下渡金

內 譯

千貳百七拾壹圓

建築費

金千三百貳拾七圓

修繕費

一金六萬千八百九拾貳圓五拾錢

土木費

內 譯

金貳萬九千五百九拾貳圓五拾錢

道路橋梁費

金三萬貳千三百圓

治水堤防費

一金三萬六千五百七拾五圓

町村土木補助費

一金六千七百七拾三圓

內譯

縣會議諸費

金千八百圓

俸給

金三千八百四拾六圓

雜給

金五百貳拾七圓

雜費

一金三千貳百三拾六圓

衛生費

內譯

金貳千七百三拾六圓

衛生費

金五百圓

傳染病豫防費

一金貳萬九千七百三拾壹圓

教育費

內譯

金壹萬六千圓

華陽學校費

金千九百圓

女學校費

金壹萬千八百三拾壹圓

醫學校費

一金貳萬六千六百六拾圓

町村教育補助費

一金七百五圓

郡廳舍建築修繕費

內譯

金七百五圓

修繕費

一金四萬八千四百六圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

內譯

金三萬千七百貳拾八圓

俸給

金九千五拾圓

雜給

金七千六百貳拾八圓

廳費

一金九百三拾壹圓

教育費

一金五千五百九拾圓

內 譯

諸達書及揭示諸費

金五千五百四拾三圓

諸達書費

金四拾七圓

揭示諸費

一金貳千七百五圓

勸業費

一金八萬八千六拾五圓

戶長以下給料及戶長職務
取扱諸費

內 譯

金三萬六千四百拾七圓

俸 給

金貳萬四千貳百四拾四圓

雜 給

金貳萬七千四百四圓

廳 費

一金貳百三拾九圓

地方稅取扱費

一金五百圓

縣廳舍建築修繕費

內 譯

金五百圓

修繕費

一金三萬四千六百八拾七圓

縣監獄費

內 譯

金三千七百貳拾八圓

俸 給

金九千五百五拾五圓

雜 給

金三千九百拾貳圓

廳 費

金貳千八圓

未決囚諸費

金壹萬五千四百八拾四圓

已決囚諸費

一金壹萬七百三圓

縣監獄建築修繕費

內 譯

金九千圓

建築費

金千七百三圓

修繕費

一金六千百貳拾六圓

地方郵便費

一金九千四百五拾七圓四拾壹錢五厘

豫備費

合計金四拾四萬四千三百八拾圓九拾壹錢五厘

收入支出比較過不足ナレ

○甲第三十四號 十六年六月一日

飛驒國益田郡下原村ノ内

舊 門和佐村 久野川村 夏燒村 田口村 蛇之尾村

右五ヶ村分裂 上原村ト改稱

舊 門原村 保井戸村 瀬戸村 三ッ淵村 和佐村 火打村

右六ヶ村分裂 中原村ト改稱

舊 中切村 下原村 渡村 大舟渡村 中津原村 福來村

右六ヶ村分裂 下原村ト改稱

同國同郡三郷村ノ内

舊 宮田村 大ヶ洞村 奥田洞村

右三ヶ村分裂 宮田村ト改稱

舊 上呂村 櫻洞村 萩原村 上村 花池村 中呂村

右六ヶ村分裂 三郷村ト改稱

舊 東上田村 湯之島村 森村 小川村

右四ヶ村分裂 下呂村ト改稱

舊 乘政村 宮地村 野尻村 御庭野村

右四ヶ村分裂 竹原村ト改稱

右之通今般分村相成候條此旨布達候事

○甲第三十五號 十六年六月二日

明治十二年二月本縣甲第十五號布達郡長特任條件中第十八項銃砲彈藥賣買讓渡願ノ一項ハ來ル七月一日ヨリ刪除シ右事務同日ヨリ所轄警察署於テ處分爲致候條此旨布達候事

但該特任條件中原第十九項ヲ第十八トシ以下順次繰上候事

○甲第三十六號 十六年六月二日

明治十二年本縣甲第十五號布達郡長ニ特任スル條件中第廿四煙草印紙貼用方及印稅諸帳簿賣買品ニ關スル證書類檢査ノ事ノ一項ヲ刪除シ左ノ一項ヲ追加ス
第廿四 受恩典者印紙紙質買捌願ノ事

右布達候事

○十二年甲十五號ハ第一卷一類三十三ニアリ

○甲第三十七號 十六年六月十二日

高山警察署所轄三郷分署自今下呂分署ト改稱候條此旨布達候事

但分署ノ位置并區域ハ従前ノ通

○甲第三十八號 十六年六月十四日

中島郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第三十九號 十六年六月十八日

明治十六年度備荒儲蓄金規則通常縣會ノ決議ヲ經左之通相定候條此旨布達候事

明治十六年度備荒儲蓄金規則

第一條 公儲ノ金額ハ地租百分ノ二個二分 地租壹圓ニ付貳錢貳厘ト定ム
地價百圓ニ付五錢五厘

第二條 公儲金ハ前年度ノ地租額ニ依リ本年七月戶長ニ於テ取纏メ郡役所ヘ納ムヘ

但本條課額ハ地所變換等ニテ地租ニ増減ヲ生スルモ据置ク者トス

第三條 政府ヨリ補助ノ金額及公儲ノ金額ハ別冊収支豫算ニ因リ公債證書ニ交換シ餘ハ現金ヲ以備ヘ置クヘキ者トス

第四條 公債証書及現金ハ縣廳ニ集儲スヘシ

但現金ハ引出シ方ニ差支ナキ様之ヲ銀行等へ預ケ金トナスヘシ

第五條 年度中米穀ヲ蓄積セントスルトキハ其年ノ豐凶ヲ見計ヒ購入スルヲ得
但蓄積法ハ臨時借庫ヲ用ヒ別ニ管守人ヲ置カサルモノトス

第六條 公債証書貯藏賣買等ニ關スル諸費及損失ハ儲蓄金ヨリ支辨スヘシ

第七條 凶荒ニ際シ自ラ生存スル能ハサル者へハ男一人一日玄米貳合 麥ハ四合雜穀
以上十三年以下ハ 女一人一日玄米壹合五勺 麥ハ三合雜穀
女ノ割合ヲ以給ス 以下ヲ以救助スヘシ其日
數ハ三十日以内トス

第八條 水火風震ノ難ニ逢ヒ自ラ生存スル能ハサル者へハ男一人一日玄米三合 七十
以上十三年以下ハ 女一人一日玄米貳合ノ割合ヲ以救助スヘシ其日數ハ三十日以内ト
ス
但其地方前月下米平均相場ヲ以石代ニ換ヘ下付スヘシ

第九條 同斷自ラ小屋掛ヲ營ム能ハサル者へハ其災害ノ輕重ニ因リ一月七圓以内ヲ
給與スヘシ

但借家住居又ハ同居等ノ者へハ給與セサルヘシ

第十條 同斷農具種穀ヲ求ムル能ハサル者へハ其災害ノ輕重ニ因リ一戸拾五圓以内
ヲ給與スヘシ

第十一條 流行病ニ罹リ目下飢餓ニ迫マル者ハ第八條ノ例ニ據リ救助スヘシ

第十二條 連村連市一時ニ暴災ニ罹リ目下窮困ニ迫ル者アレハ十日以内ハ焚出米ヲ
給與シ其災害ノ景況ニ因リ假リニ小屋掛ヲ營ミ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ

但本條焚出ノ日數ハ第七條第八條日數制限内ニ算入スルモノトス

第十三條 非常ノ凶災ニ罹リ土地家屋ヲ賣却スルニ非サレハ地租ヲ納ムル能ハサル
者ニシテ第七條第八條ノ救助ヲ受クルモノ 農業又ハ職業ニ必用ナル物品ヲ除キ他ニ
ソトスルヘハ左ノ各項ニ依リ該年ノ租額ヲ補助又ハ貸與スヘシ

第一 田方ハ平均八分以上損毛ノモノニ限ル

第二 畑方ハ非常ノ損毛ニ限ル

第三 損毛歩合及貸與ノ金額ハ官吏ヲ派遣シ實地檢査ノ上之ヲ定ム

第四 返納期限ハ十ヶ年賦トシ其翌年度ヨリ毎年十二月廿五日限リ納付セシム

第十四條 負債ノ償還ヲ終ラサル内再度凶災ニ逢ヒ尙貸與ヲ受クル歟又ハ荒地ト成タル片ハ其土地ニ係ル舊債ヲ棄捐スヘシ

第十五條 負債年限内ニ於テ該地ヲ讓與賣却スル片ハ一時ニ返納スヘシ其止ヲ得サル場合ニ於テハ事實審査ノ上十ヶ年賦以内ヲ以テ延期ヲ許スコトアルヘシ

但其讓受買得人ニ引受テ定期ニ從ヒ償還スルカ又ハ一時ニ返納スルコトヲ得

第十六條 此規則ニ因リ救助貸與ヲ乞フモノハ戶長へ申出ツヘシ戶長ハ實況調査ノ上之ヲ取纏テ郡役所へ出願スヘキモノトス

第十七條 前條出願ノ期限ハ罹災ノ日ヨリ三十日以内トス若此期限ヲ過去リタル片

ハ如何様ノ情實之アルトモ一切給貸セサルヘシ

但災害ノ模様ニヨリ期限内調査爲シ難キ場合ニ於テハ前以戶長ヨリ其事情ヲ具申シ本縣ノ許可ヲ得ルニ於テハ此限ニアラス

第十八條 儲蓄金穀ノ出納精算ハ翌年通常縣會ニ報告シ且管内へ布達スヘシ

明治十六年度備荒儲蓄金豫算

収入之部

一金貳万三千貳百貳拾九圓貳拾三錢

公 儲 金

一金貳万三千六拾圓

配 付 金

一金壹万貳千百四拾四圓八拾五錢

公債証書利子

一金千九百九拾八圓八拾三錢壹厘

地租貸與返納金

合計金六万四千三百貳圓九拾壹錢壹厘

支出之部

一金五万八千五百七拾五圓

一金千五百圓

一金三百五拾七圓九拾壹錢壹厘

合計金六万四千三百三拾貳圓九拾壹錢壹厘

収比較過不足ナシ

○甲第四十號 十六年六月十九日

明治十六年度地方税課目課額本年通常縣會ノ議決ヲ經左之通相定本年七月ヨリ施行候條此旨布達候事

但漁業税ハ追テ布達スヘシ

地租割

地租壹圓ニ付

金貳拾錢

一 地租割ハ納期後地所變換等ニテ地租ニ増減ヲ生スルモ該半年度中ハ前納ノ高ニ据

公債証書買入代

罹災救助

雜出

置追徴返附セス

戸數割

一戸ニ付

金三拾壹錢

一 戸數割ハ左ノ如ク賦課ス

一本籍寄留ト戸主非戸主トヲ問ハス一戸ヲナスモノ

一 甲乙同居ノ名アリト雖モ其實共居同爨セスシテ一戸ノ体裁ヲナスモノ

一 寺院學校説教場病院官舎等民有地ニアラサルモ現住者アルモノ

一 官有地第三種ノ地ヲ借受居住スルモノ

一 戸數割ハ町村會ニ於テ等差ヲ設テ賦課スルモ妨クナシト雖モ一戸優等五圓ヲ超過スルヲ得ス又其貧困ナル者ハ之ヲ免除スルヲ得

但等差ヲ設クルカ爲メ其町村戸數割ノ總額ヲ増減スルヲ得ス

營業税

商業

一等	賣上金	拾萬圓以上	年税金百圓
二等	同	八萬圓以上	同 金八拾圓
三等	同	六萬圓以上	同 金六拾圓
四等	同	四萬圓以上	同 金四拾圓
五等	同	貳萬圓以上	同 金三拾圓
六等	同	壹萬圓以上	同 金廿五圓
七等	同	八千圓以上	同 金貳十圓
八等	同	六千圓以上	同 金拾五圓
九等	同	四千圓以上	同 金拾貳圓
十等	同	貳千圓以上	同 金八圓
十一等	同	千圓以上	同 金五圓

十二等	同	八百圓以上	同 金四圓
十三等	同	六百圓以上	同 金三圓
十四等	同	四百圓以上	同 金貳圓
十五等	同	貳百圓以上	同 金壹圓
十六等	同	貳百圓未滿	同 金五拾錢

但私立銀行及社會社ハ資本金千分ノ三ヲ課ス

工業

一等	製出金(職工ハ收入金)	拾萬圓以上	年税金百圓
二等	同	八萬圓以上	同 金八拾圓
三等	同	六萬圓以上	同 金六拾圓
四等	同	四萬圓以上	同 金四拾圓
五等	同	貳萬圓以上	同 金三拾圓

六等	同	壹萬圓以上	同金貳拾五圓
七等	同	八千圓以上	同金貳拾圓
八等	同	六千圓以上	同金拾五圓
九等	同	四千圓以上	同金拾貳圓
十等	同	貳千圓以上	同金八圓
十一等	同	千圓以上	同金五圓
十二等	同	八百圓以上	同金四圓
十三等	同	六百圓以上	同金三圓
十四等	同	四百圓以上	同金貳圓
十五等	同	貳百圓以上	同金壹圓
十六等	同	貳百圓未滿	同金五拾錢

但會社ノ資本金千分ノ三ヲ課ス

雜種稅

料理屋

一等	賣上金	五千圓以上	年稅金三拾圓
二等	同	四千圓以上	同金貳拾四圓
三等	同	三千圓以上	同金拾八圓
四等	同	貳千圓以上	同金拾貳圓
五等	同	千圓以上	同金七圓
六等	同	八百圓以上	同金六圓
七等	同	六百圓以上	同金四圓五拾錢
八等	同	四百圓以上	同金三圓
九等	同	貳百圓以上	同金貳圓
十等	同	貳百圓未滿	同金壹圓

飲食店	一等	賣上金	五千圓以上	年税金三十圓
	二等	同	四千圓以上	同金貳拾四圓
	三等	同	三千圓以上	同金十八圓
	四等	同	貳千圓以上	同金十貳圓
	五等	同	千圓以上	同金七圓
	六等	同	八百圓以上	同金六圓
	七等	同	六百圓以上	同金四圓五拾錢
	八等	同	四百圓以上	同金三圓
	九等	同	貳百圓以上	同金貳圓
湯屋	十等	同	貳百圓未滿	同金壹圓

湯坪	一坪以上	年税金貳圓
同	一坪未滿	同金壹圓
理髮人		年税金壹圓
備人受宿		年税金壹圓
遊藝師匠		月税金五拾錢
遊藝稼人		月税金七拾五錢
相撲	行司共	年税金五圓
俳優	十五年以上	月税金貳圓
	十五年未滿	同金壹圓
	十三年以上	月税金貳圓
	十三年未滿	同金壹圓
市場		月税金貳圓
演劇		日稅木戶錢十八分 上等場代五枚分

十六年甲號

〇五十三

興行	遊覽所	遊技場	船	車	水車	搗臼	挽臼	乘馬	屠畜	牛	馬
日稅 木戶錢十八分 上等場代五枚分	日稅見料 十八分	月稅金 七拾五錢	年稅國稅 半額	年稅國稅 半額	年稅金 貳拾錢	同 金 四拾錢	年稅金 貳圓	一頭ニ付	一頭ニ付	一頭ニ付	同
			船 船及ヒ 五十石未滿海船 馬車人力車荷積馬車荷積大七 八車荷積中小車荷積牛車ノ類								

漁業	遊漁共	築漁	鵜漁	大網漁	雜漁
		一組ニ付	同	同	一人ニ付
		上リ高百分ノ五	年稅金 拾圓	同 金 五圓	同 金 五拾錢

(十六年甲四十二號ヲ以テ追加)

一賦課免除及ヒ開業轉業廢業等ニ係ル稅金收除ノ區別左ノ如シ

- 工業者ニシテ其製造品ヲ販賣スルモ別ニ商業稅ヲ課セス
- 料理屋ニシテ飲食店ヲ兼テ飲食店ニシテ料理屋ヲ兼ヌルモノハ其賣上金ヲ通算シ課稅ス
- 藝妓俳優等ニテ遊藝師匠、遊藝師匠ニテ遊藝稼人ヲ兼ヌル者ハ其稅額ノ重キ一方ニヨリ課稅ス

○商業ノ支店工業ノ支場ノ如キハ各別ニ課税ス

○一個ノ商人數種ノ商業ヲナセハ賣上金通算ノ額ニヨリ課税ス年度中其種類ヲ増減スルモ税額ハ据置クヘシ

但工業者ニシテ數種ノ工業ヲ兼ヌルモノモ亦同シ

○賣上金ノ定メ難キ商業ハ其收益金ヲ十倍シタルモノヲ賣上金トシ課税ス

○會社ニシテ資本金ノ定メ難キ者ハ收益金ヲ六倍シタル額ヲ資本金ト見做シ課税ス

○自家收得ノ農産物ト雖モ開店營業スルモノハ課税ス其開店セサルモノト雖モ買入物品ニ混淆製出スルモノハ課税ス

○水車ノ内耕地灌溉ノ都合ニヨリ休業スルモノハ月割ヲ以課税ス

○年税ハ開業十二月以前ハ全年分一月已後ハ半年分廢業十二月以前ハ半年分一月以後ハ全年分ヲ徵收ス

但水車乘馬ノ増減モ亦同シ

○月税ハ開業十五日以前ハ全月分十六日以後ハ半月分廢業十五日以前ハ半月分十六日以後ハ全月分ヲ徵收ス

○年度中他ノ課目ニ轉業スルモノハ新規開業ニ準シ課税ス

○本税ヲ免除スヘキモノ左ノ如シ

一賣上金製出金收入金拾圓ニ滿タサル營業者

一自用ヲ辨タル能ハサル不具ノ遊藝師匠及稼人

一工業ニ屬スル水車

一自用ニ供スル一日立ノ水車

一工業ニ屬スル婦人ノ傭役者

一雜漁中遊漁ニシテ十四年未滿及ヒ漁具ヲ携ヘサル者(十六年甲四十) (二號ヲ以追加)

○甲第四十一號 十六年六月十九日

明治十六年地方稅徵收順序別紙之通相定本年七月ヨリ施行候條此旨布達候事

明治十六年度地方稅徵收順序

第一章 地租割

第一條 地租割ハ納期現在ノ地租額ニヨリ之ヲ徵收スヘシ

第二條 地租割ハ左ノ二期ニ前納スヘシ

第一期 六月二十日限

第二期 一月二十日限

第二章 戶數割

第三條 戶數割ハ納期現在ノ戶數ニヨリ之ヲ徵收スヘシ

第四條 戶數割ハ左ノ二期ニ前納スヘシ

第一期 六月三十日限

第二期 一月三十日限

第五條 納期ニ際シ町村會ニ於テ等差ノ決議ヲナサ、ル時ハ一戶當ノ額ニヨリ徵收

スヘシ

第六條 町村會ニ於テ等差ヲ設ク賦課シタル時ハ其等級稅率及ヒ免除人員トモ直チ

ニ戶長ヨリ届出ヘシ

第三章 營業稅、雜種稅

第七條 營業稅雜種稅ノ納期ハ左ノ各項ニヨルヘシ

一、年稅ハ該年七月ヨリ十二月迄ヲ第一期トシ翌年一月ヨリ六月迄ヲ第二期トシ、每

期(七月、一月)三十一日限前納スヘシ

但新規開業ノモノハ開業ノ當月該期分ヲ納稅スヘシ

一、年稅ハ該年七月ヨリ十二月迄ヲ第一期トシ翌年一月ヨリ六月迄ヲ第二期トシ、每

期(七月、一月)三十一日限前納稅スヘシ其新規開業ニ係ルモノハ開業ノ當月該期分ヲ納稅

スヘシ(十六年甲四十八號ヲ以本項改正)

但第一期納ノ内賣上金等ニヨリ課稅スルモノハ八月三十一日限前納稅スヘシ

(十六年甲五十七號ヲ以但書中八月三十一日ヲ九月三十日ト改ム)

一月稅ハ毎月十七日納稅スヘシ

但納期後新規開業ノモノハ開業ノ當日納稅スヘシ

一日稅ハ開場日限中ノ稅金ヲ取東子開場ノ前日納稅スヘシ

價日數ノ伸縮木戸錢場代見料等ノ増減ハ其都度追徴シ又ハ下戻ヲ請フ者トス

一市場稅^〇筭^〇漁稅ハ一ヶ月毎ニ其上リ高ノ檢査ヲ受テ翌月十日限納稅スヘシ(十六年四月十八號ヲ以追加)

但臨時市場ハ閉場後三日以内ニ納稅スヘシ

一屠畜稅ハ屠殺ノ前日納稅スヘシ

但納稅濟ノ領收書ハ屠殺ノ節出張警察官ノ檢閱ヲ受クヘシ

第八條 商業工業料理屋飲食店ノ營業者ハ左ノ各項ニヨリ賣上金等ノ取調ヲナスヘシ

一賣上金製出金收入金收益金ハ昨十五年一月ヨリ十二月マテノ金高ヲ取調戸長役場へ申出ヘシ

一戸長ハ申出ノ金高確實ト認ムル時ハ帳簿ヲ製シ其金高ヲ記載調印セシメ來ル七月十日限郡役所へ差出スヘシ

但製帳ノ際賣上金製出金收入金ハ拾圓位ニ止メ收益金ハ壹圓位ニ積算スヘシ

一賣上金製出金收入金拾圓未満ニシテ免稅ニ屬スルモノハ其業名姓名ヲ記載調印セシメ前項ノ帳簿ト同時ニ差出スヘシ

一郡役所ハ戸長ヨリ進達スル所ノ帳簿ニ就テ各個ノ賣上帳ヲ徴シ其當否ヲ檢査スヘシ若シ申立ノ金高確實ナラサル片ハ更ニ再調ヲナサシムヘシ

但檢査ノ際本縣主務ノ官吏出張監査スヘシ

一年度中新規開業ノ者ハ其年度ニ於テ可取扱見込ノ金高ヲ取調鑑札願受ノ際郡役所へ届出ヘシ

第九條 築漁業ヲ營マントスル者ハ左ノ各項ニヨルヘシ

一 築場ヲ構設セントスル時ハ其沿流前後ノ町村ニ於テ故障ナキ旨ヲ保証シタル書面ニ實地ノ景況ヲ詳悉シタル圖面ヲ添ヘ戸長役場ヲ經テ郡役所ヘ願出ヘシ

(十六年甲四十三號ヲ以本條追加)

但沿流前後町村ニ於テ謂ナキ故障ヲ申立ルニ於テハ保証ヲ要セス

一 郡役所ニ於テハ實地ヲ檢査シ妨害ナキ場所ト認ムル時ハ縣廳ノ認可ヲ得テ免許鑑札ヲ付與スヘシ

一 築場ニ於テハ日々收得スル所ノ魚類ヲ賣捌キタル仕切書又ハ賣上帳簿ニ就キ

一ヶ月毎ニ其上リ高ヲ總計シ翌月五日限郡役所ヘ届出ヘシ

但遊漁ハ其收得スル所ノ魚類員數ヲ帳記シ置キ一ヶ月毎ニ見込ノ代金ヲ附

シ翌月五日限郡役所ニ届出ヘシ

一 築漁ハ該年七月ヨリ十二月迄ヲ免許ノ期限トス

第九條 營業稅雜種稅課目中ノ諸業ヲ營ムモノハ左ノ各項ニヨリ鑑札ヲ受クヘシ

(十六年甲四十三號ヲ以本條ヲ第十條ト改ム)

但市場演劇興行遊覽所舩車水車及ヒ工業ニ屬スル婦人ノ傭役者雜漁中遊漁ニシ

テ十四年未滿及ヒ漁具ヲ携ヘサル者ハ鑑札ヲ付與セス (十六年甲五十號ヲ以増補)

一 遊藝師匠遊藝稼人ハ遊藝ノ種類身分藝名アル者ハ其藝名年齢共願書中ニ記載ス

ヘシ

但相撲俳優藝妓幫間モ本項ニ同シ

一 遊技場ハ其遊技ノ種類ヲ願書中ヘ記載スヘシ

一 鑑札ハ改名代替轉居ノ節ハ書換ヲ請フヘク水火盜難過誤等ニヨリ失却スル者ハ

更ニ下渡ヲ乞フヘシ廢業並ニ他府縣ヘ轉居スルモノハ返納スヘシ

但轉居等ニテ甲乙兩郡役所ニ交渉スルモノハ甲郡役所ヘ返納シ乙郡役所ヘ下

渡ヲ乞フヘシ

一漁業鑑札ハ出漁ノ節必ス之ヲ携帯スヘシ
(十六年甲四十
三號ヲ以追加)

一鑑札ヲ附與スル諸業(漁業ヲ除ク)ハ總テ戶外ヘ標札ヲ掲クヘシ

○甲第四十二號 十六年六月廿六日

地方稅中漁業稅ノ儀本年通常縣會ノ議決ヲ經其筋ノ裁可ヲ受ケ左ノ通本年本縣甲第
四十號布達中ヘ追加ス此旨布達候事(原達訂正)

但明治十五年本縣甲第四十二號及同年甲第七十號布達ハ廢止ス

○甲第四十三號 十六年六月廿六日

○甲第四十四號 十六年六月廿六日

本年本縣甲第四十一號布達地方稅徵收順序中ヘ追加

○甲第四十四號 十六年六月廿六日

明治十四年(七月)本縣甲第八十三號布達施療券及牛痘施種券發行假規則中左ノ通改
正候條此旨布達候事

第二條 各郡役所ニ於テハノ下其部下町村會ノ議決ニヨリ地方稅戶數割ヲ免除候貧

民ノ自費ニテ醫療ヲ受難ク且他ニ救助ヲ仰クヘキモノナクシテ目下生活ニ困ムモ

ノニ限リ戶長及衛生委員ノ連署ヲ以テ願出ルルハ篤ト取訂事實相違ナキモノハ其

請ヲ允シテ施療券ヲ授クヘシ

但云々

第五條 但書中三日内ヲ七日内

○甲第四拾五號 十六年六月廿七日

明治十四年(七月)本縣甲第九拾貳號布達種痘心得中第四號書式左之通本年七月ヨリ改正

候條此旨布達候事

○甲第四拾五號 十六年六月廿七日

(料紙半紙)

明治何年 自一(七)月種痘人員統計報告
至六(十二)月

一初種

善感

一年以下 何人

二年以下 何人

三年以下 何人

四年以下 何人

四年以上 何人

不善感

年別前ノ如

計何人

一再三種

善感 何人

不善感 何人

計何人

一未痘人員

一年以下 何人

二年以下 何人

三年以下 何人

四年以下 何人

四年以上十五年以下 何人
(十六年甲七十
九號ヲ以改正)

計何人

未痘人員ハ本期末ノ現在數ヲ掲

右之通相違無之此段報告候也

國郡町(村)

衛生委員

年月日

姓名印

郡長宛

十六年甲號

〇六十

○甲第四拾六號 十六年六月廿七日

明治十三年(五月)本縣甲第三拾五號布達各町村衛生委員事務取扱手續ニ依リ差出來候諸統計表式別紙ノ通本年七月ヨリ改正増補候條第一第二第三調書ハ毎月調製シ翌月十日限リ第四調書ハ毎年調製シ翌年一月廿五日限リ第五表ハ毎年七月廿五日限リ總テ正副二通可差出此旨布達候事

○十三年甲三拾五號ハ第四
卷八類三十三ニアリ

(第一)(料紙美濃紙)

何國何郡何村出產調

明治何年何月

衛生委員

何之誰印

出產月日	生產死產ノ別	男女ノ別	公生私生ノ別
何月何日	生產	男	公生
何月何日	死產	女	私生
何月何日	生產ニツ子(三ツ子)	一人男(二人男) 一人女(一人女)	公生

解釋

一此調ハ衛生委員ノ數町村ヲ兼任スルモ一町村毎ニ之ヲ製スルモノトス
 一妾腹ノ子ハ公生ノ内ニ算入スルモノトス
 一死産ハ妊娠後四ヶ月以上ニシテ死胎分娩ノモノヲ算スルモノトス
 一他官ヨリ入寄留ノ者ヲモ數中ニ算入スルモノトス
 但通過ノ旅人及一時滯泊ノ者ハ此限ニ非ス
 一乘兒アル片ハ其員數男女ノ別并生產年月(年月ハ)ヲ欄外ニ附記スルモノトス(六十
 年甲八十号ヲ以テ本項追加)

(第二)(料紙美濃紙)

何國何郡何村結婚調

明治何年何月

衛生委員

何之誰印

男ノ年齢	女ノ年齢	初縁	再縁	ノ別
男	女	男	女	別

十六年甲號

〇六十一

一此調ハ衛生委員ノ數町村ヲ兼任スルモ一町村毎ニ之ヲ製スルモノトス
一他管ヨリ入寄留ノ者ヲモ數中ニ算入スルモノトス

但陸海軍々衛ニ於テ直ニ埋葬セル者在監人 未決已決及懲治人ヲ論セテ總テ現在入監ノ者并通過ノ旅人一

時滯泊ノ者ハ算入セサルモノトス

○行○政○處○分○ヲ○原○籍○明○不○明○ニ○ハ○拘○ハ○ラ○ス○總○テ○該○屍○發○見○シ○タ○ル○土○地○ニ○於○テ○取○調○ハ○

本○表○欄○外○ニ○其○員○數○ヲ○男○女○年○齡○推○算○及○死○亡○元○因○知○リ○得○ル○ヲ○附○記○ス○ル○モノ○ト○ス○

二十九號ヲ以本項追加

(第四)(料紙美濃紙)

何國何郡何村 坪數及戶口調 明治何年十二月卅一日 衛生委員 何之謹印

坪數

戶數

現在夫婦

現在人口 男 女 合計

解釋

一此調ハ衛生委員ノ數町村ヲ兼任スルモ一町村毎ニ一葉ヲ製スルモノトス

一此調ハ毎年十二月三十一日ノ現在數ヲ揭シ

一坪數ハ官有地民有地ヲ論セス道路敷堤敷川敷等ニ至ル迄悉皆算入スルモノトス

一夫婦并人口數ハ本籍寄留ヲ問ハス現住ノ者ヲ算スルモノトス

(第五)(料紙半紙)

明治何年度

何國何郡何村衛生費明細表

一金

町村衛生委員費

但町村費

仕拂内譯

金

給料

一金
但町村費
仕拂内譯
金 金 金
內

手當
旅費
需用費
建築修繕費
町村衛生會費
手當
旅費
需用費
傳染病豫防費

一金
但町村費
仕拂内譯
金 金 金 金 金

國庫下渡金
地方稅
町村費
寄附金
諸備給
手當
旅費
消毒藥
需用費
何々

十六年甲號

〇六十四

仕拂内譯

金 金 金
合計金

何々々
何々々
何々々

衛生委員

年月日

何之誰印

郡長宛

解釋

- 一 此表ハ會計年度ニ依リ製スルモノトス
- 一 衛生委員ノ數町村ヲ兼任スルモノ一町村毎ニ製スルモノトス
- 一 町村衛生委員費ハ衛生委員ノ給料手當ヲ始メ職務取扱ノ爲メ消費シタル一切ノ金

員ヲ掲グルモノトス

- 一 町村衛生會費ハ其町村衛生會ノ爲メニ消費シタル一切ノ費用ヲ掲グルモノトス
- 一 傳染病豫防費ハ傳染病豫防ノ目的ヲ以テ費シタル一切ノ費用ヲ掲グルモノトス
- 但避病院ヲ設置シタル片ハ本項内譯ニ別掲スヘシ

一 此表式ニ列記スル所ノ收受ノ費目支出ノ科目ハ唯其一二ノ例ヲ揭示スルニ過サレ
ハ此他凡ソ衛生費ニ關係シタル出納ハ細大一々別記スルモノトス

○甲第四十七號 十六年六月廿九日

來ル七月一日ヨリ岐阜縣華陽學校岐阜縣農學校ヲ合併シ華陽學校中左ノ三部相設候
條此旨布達候事

師範學部 農學部 中學部

○甲第四拾八號 十六年七月六日

本年本縣甲第四拾壹號布達地方稅徵收順序中更正追加

○甲第四十九號 十六年七月十一日

戸長撰舉規則別冊之通相定候條此旨布達候事

戸長撰舉規則(十七年甲八十) 五號ヲ以廢止

第一條 戸長ノ撰舉ハ總テ後條ノ手續ニ依リ其町村人民ヲ投票セシムルモノトス
第二條 戸長タルヲ得ヘキモノハ丁年以上ノ男子ニシテ其町村内ニ居住相應ノ財產ヲ所有シ普通ノ讀書筆算ニ通スルモノタルヘシ

但町村内ニ於テ其人ヲ得難キ片ハ他町村ヨリ撰舉スルヲ得

第三條 左ノ各項ニ觸ル、モノハ戸長ノ撰ニ入ルヲ得ス

第一項風癩白痴ノ者

第二項舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル

モノ

新法ニ依リ公權ヲ剝奪及停止セラレタル者又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラ

レ主刑滿期後五年ヲ經サルモノ

第三項身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘカカモノ

第四項官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ後滿二年ヲ經サルモノ

第四條 撰舉人ハ其町村内ニ本籍ヲ定ムル丁年以上ノ男戸主ニ限ルヘシ

但前條第一項第二項第三項ニ觸ル、モノハ撰舉人タルヲ得ス

第五條 戸長ノ任期ハ滿三ヶ年トス但滿期改撰ノ節前任ノ者ヲ再撰スルヲ得

第六條 戸長在職中第三條ノ場合ニ遭遇スルカ若シクハ轉免死亡等アル片ハ更ニ之

ニ代ル者ヲ撰舉セシム

第七條 戸長ヲ撰舉セシメントスル片ハ所轄郡役所ヨリ豫メ投票ノ時日ヲ告示シ少

クモ五日以前ニ該用紙ヲ撰舉人ニ付與スヘシ

第八條 撰舉人ハ投票用紙ニ被撰人及ヒ自己ノ姓名ヲ記シ實印ヲ捺シ豫定ノ時日戸

長役場ヘ差出スヘシ役場ニ於テハ之ヲ取纏メ直ニ郡役所ヘ差出スヘシ

第九條 投票ハ當日豫定ノ期限マテニ差出サ、ルモノハ、撰舉權ヲ自棄シタルモノト見做スヘシ

第十條 開票ハ郡役所ニ於テ該町村戸長代理人又ハ人民總代人ヲ立會ハセ郡長之ヲ執行シ當撰人ノ當否ヲ查シ多數ノ投票ヲ得タル者第三番迄ノ姓名及履歷等取調縣令ヘ具狀スヘシ縣令ニ於テハ該多票者中ヨリ撰任スルモノトス

第十一條 前條ノ多票者總テ就職ヲ欲セサル歟或ハ不適應ナリト見認ル片ハ更ニ之ヲ再撰セシメ又ハ官撰アルヲアルヘシ

○甲第五十號 十六年七月十一日

今般甲第四十九號ヲ以テ戸長撰舉規則布達候ニ付テハ現任戸長モ右規則ニ準シ該布達ノ月ヨリ滿三年ヲ以テ改撰ノ期トス此旨布達候事(十七年甲八十五號ニヨリ消滅)

○甲第五十壹號 十六年七月十四日

本年本縣甲第拾九號布達管内約束郵便法中改訂追加

○甲第五十貳號 十六年七月十九日

本年三月本縣甲第貳拾壹號虎列刺病者取調書式中左之通改正シ町村衛生委員ヲシテ調査セシメ候ニ付自今醫員ニ於テ調製ニ不及候條此旨布達候事(原達訂正)

○甲第五十三號 十六年七月廿六日

本年(三月)本縣甲第八號布達死亡屆規則中第七條并第壹號書式改正

○甲第五十四號 十六年七月三十一日

本年本縣甲第四拾一號布達地方稅徵收順序中增補

○甲第五十五號 十六年八月三日

明治十五年(十二月)第六十三號布告ヲ以テ煙草稅則改定相成候ニ付テハ該營業者ニ於テ別紙條項ノ通相心得ヘシ此旨布達候事

煙草營業者心得書

第一條 煙草稅則第五條第六條第二十四條ノ諸鑑札ハ所轄郡役所ヘ願出ヘシ

但第六條ノ雇人ハ必ス雇主ノ家ニアルモノニ限ルヘシ(十七年甲五十八號ヲ以追加)
第二條 煙草製造人ハ鑑札受領ノ際製造所及ヒ器械ノ員數ヲ第一號書式ニ倣ヒ届出
ヘシ

但増減ハ其時々届出ヘシ

第三條 煙草製造人ニシテ賃切ニ付スル者ハ其賃切人ノ氏名住所並器械ノ員數ヲ第
二號書式ニ倣ヒ届出ヘシ

但増減ハ其時々届出ヘシ

第四條 卷烟草ハ印紙貼用ニ及ハスト雖其製造高及ヒ賣捌高等ハ烟草製造帳ヘ卷煙
草ノ部分ヲ設ケ之ヲ詳記シ月計ヲ附載シ置クヘシ

第五條 煙草稅則第二十一條製造人ノ氏名住所等ハ左ノ雛形ニ倣ヒ記載スヘシ

箱詰紙包雛形

卸賣定價何程	量目何如
何國何郡何村何番地	
何	某

玉造雛形

卸賣定價何程	量目何如
何國何郡何村何番地	何
某	

第六條 煙草仲買人小賣人ニテ裝置煙草ヲ五匁以下崩シ賣ニナス片ハ煙草稅則第十
五條ニ據リ更ニ帶印紙ヲ以テ結束消印シ前條玉造ノ雛形ニ倣ヒ自己ノ氏名住所ヲ
記載シ置クヘシ

第七條 裝置烟草ニ記載スヘキ定價ハ仲買人ニ卸賣スル所ノ價格(印紙包紙箱代等ヲ込ム)ナル

ヘシ

第八條 烟草稅則第十四條烟草印紙ノ消印ハ在來ノ店判等ヲ用ユルカ又ハ新タニ印章ヲ彫刻スルモ必ス七分以上ノモノヲ用ヒ墨肉ヲ以テ押捺スヘシ

第九條 烟草製造人ニシテ烟草耕作人自用ノ烟草ヲ製造シ遣ハスルハ製造人於テ相當定價ヲ見積リ印紙貼用等總テ普通ノ手續ヲナスヘシ

第十條 烟草營業者ニシテ烟草稅則第一條ノ各種ヲ兼業スル者ハ稅則第二十九條ニ據リ一種毎ニ標札ヲ掲出スヘシ

但寸法書式等ハ本年太政官第二十號布達第三号雛形ニ據ルヘシ

第十一條 烟草營業者ハ所用ノ諸帳簿及ヒ所持ノ烟草ハ勿論製造所諸器械等出帳検査官ノ検査ヲ受クヘシ

第十二條 検査官臨檢ノ際營業者疾病又ハ事故アル片ハ營業熟知ノモノヲ以テ代理セシムヘシ

第十三條 烟草營業者ハ第三號以下ノ書式ニ倣ヒ左ノ諸帳簿ヲ調製シ置クヘシ但此帳簿ハ少クモ三ヶ年間保存スヘキモノトス

製造人

「烟草製造帳」葉烟草買入ノ部製造ノ部

烟草印紙受拂帳

烟草製造器械取調帳

仲買人

烟草買入帳

「烟草賣渡帳」葉烟草賣渡ノ部

烟草印紙受拂帳

小賣人

「烟草買入帳」「刻烟草買入ノ部」ト「五匁以下崩造ノ部」ト口譯ニナスヘシ

煙草賣渡帳

煙草印紙受拂帳

附

一 煙草賣切ヲ業トスル者ハ煙草製造人ヨリ引受ケノ外他ノ煙草ヲ製造スヘカラス
一 煙草賣切人ハ製造人ヨリ受取タル葉烟草ノ量目并製造仕上ノ量目賣銀及ヒ其製造
人ノ住所姓名受渡ノ年月日等ヲ帳記シ置クヘシ但時トシテ検査官臨檢スルコトアル
ヘシ

(第一號)

煙草製造所及器械員數御届

一 煙草製造所

何ヶ所

但何郡何村何番地

何々

幾組

一同器械

何々

幾組

右之通相違無御座候尤已後増減有之節ハ其時々御届可申上候也

何郡何村何番地

煙草製造人

年月日

何 某 印

縣令宛

奥書通常

右村戸長

何 某 印

(第二號)

賣切人氏名住所并器械員數御届

何郡何村何番地

一器械

幾組

賃切人

何

某

何郡何町何番地

一同

幾組

賃切人

何

某

右之通相違無御座候尤已後増減有之節ハ其時々御届可申上候也

何郡何町何番地

煙草製造人

年月日

何

某印

縣令宛

與書通常

右村戸長

何

某印

(第三號)

製造人帳簿書式

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

煙草製造帳

何郡何町製造人

何 某

(「葉煙草買入ノ部」製造ノ部「賣渡ノ部」ノ三部ニ口譯スヘシ)

葉煙草買入ノ部(十六年甲五十九號ヲ以書式ヲ改ム但舊文ヲ零ス)

(十六年甲七十七號ヲ以代價何程ノ行ヲ削ル)

何國何郡何町

何月何日

中買人(耕作人)

一何々(國府朝柄ノ類)

新葉(古葉)何貫匁

何某ヨリ買入

十六年甲號

〇七十一

代價何程

何月何日

一古葉何百何拾貫匁

代價何程

(煙草ノ種類異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

何々何拾貫匁

代價何程

何々何拾貫匁

代價何程

(以下倣之一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナスヘシ)

何國何郡何町

中買人(耕作人)

何某ヨリ買入

小計何百何拾何貫匁

代價何程

内

何々新葉(古葉)何拾貫匁

代價何程

何々古葉何拾貫匁

代價何程

何々古葉何百貫匁

代價何程

何月分煙草製造高ヲ引

何月一日現在高

葉煙草何百何拾貫匁

代價何程

内

何々新葉何百貫匁

代價何

何々古葉何百貫匁

代價何程

何々古葉何貫匁

代價何程

(一日ノ現在高ハ其月ノ小計ニ合算スヘシ)

製造ノ部(十六年甲五十九號ヲ以書)
(式ヲ改ム但舊文ヲ零ス)
(十六年甲七十七号ヲ以)
(代價何程ノ行ヲ削ル)

何月何日

一何々(國府朝柄ノ類)新葉何貫匁

代價何程

一何々古葉何拾貫匁

代價何程

計何拾貫匁

代價何程

此製造煙草何拾貫匁

代價何程

内

五匁以下崩造何拾個何貫匁

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

但百匁ニ付卸賣
定價何程

拾五玉造何拾個

代價何程

拾五玉造何拾個

代價何程

五拾夕箱詰何拾個

代價何程

何月何日賃切人何町村何某へ渡

一何々新藥何拾貫匁

代價何程

一何々古藥何貫匁

代價何程

計何拾貫匁

代價何程

此製造煙草何拾貫匁

代價何程

但何月何日受取

内

五匁以下崩造何拾個何貫匁

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

拾五玉造何拾個

代價何程

拾五匁玉造何拾個

但百匁ニ付卸賣
定價何程

代價何程

三拾匁箱詰何拾個

代價何程

(以下倣之百匁ニ付卸賣定價ノ異ナル毎ニ順次記載シ一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲ示スヘシ)

小計何拾何貫匁

代價何程

丙

何々新葉何拾貫匁

代價何程

何々古葉何拾貫匁

代價何程

何々古葉何拾貫匁

代價何程

此製造烟草何拾何貫匁

代價何程

外

前月分越高何拾何貫匁

代價何程

計何拾何貫匁

代價何程

丙

五匁以下崩造何拾個何貫匁

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

但百匁二付卸賣定價
貳拾五錢未滿

五匁玉造何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

五匁玉造何拾個

代價何程

但同
五拾錢以上

拾匁玉造何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢未滿

拾匁玉造何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

拾五匁玉造何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

三拾匁箱詰何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

五拾匁箱詰何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

何月分賣渡高引

何月一日現在高

製造烟草何拾何貫匁

代價何程

內

五匁以下崩造何拾個何貫匁

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

但百匁ニ付卸賣定價

五匁玉造何拾個

代價何程

但同 貳拾五錢以上

五匁玉造何拾個

代價何程

但同 五拾錢以上

拾匁玉造何拾個

代價何程

但同 貳拾五錢未滿

拾匁玉造何拾個

代價何程

但同 貳拾五錢以上

拾五匁玉造何拾個

代價何程

但同 貳拾五錢以上

三拾匁箱詰何拾個

代價何程

但同 貳拾五錢以上

五拾匁箱詰何拾個

代價何程

但同 貳拾五錢以上

(一)日、現在高、其月、小計ニ合算ス、(二)十六年甲七十七號ヲ以小計ノ末行括弧ノ十八字ヲ削ル

賣渡ノ部

何國何郡何村

仲買人(小賣人)

何某へ賣渡

何月何日

一五匁玉造何拾個

代價何程

但 百匁ニ付卸賣定價何程

同日

一拾匁玉造何拾個

代價何程

同人へ賣渡

但同程

何月何日

一拾匁玉造何拾個

代價何程

同日

一五拾匁箱詰何拾個

代價何程

同日

一五匁以下崩造何拾個何貫匁

代價何程

(以下倣之百匁ニ付卸賣定價ノ異ナル毎ニ順次記載シ一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナ
スヘシ)

何國何郡何町

仲買人(小賣人)

何某へ賣渡

但何同上

同人へ賣渡

但何同上

同人へ賣渡

小計何百何拾何個

代價何程

内

五匁以下崩造何拾個何貫匁

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

拾匁玉造何拾個

代價何程

拾匁玉造何拾個

代價何程

五拾匁箱詰何拾個

但百匁ニ付卸賣定價
貳拾五錢未滿

但同
貳拾五錢未滿上

但同
貳拾五錢以上上

代價何程

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

但同
貳拾五錢以上

明治何年

烟草印紙受拂帳

何郡何町製造人

何 某

(「買受ノ部」遺拂ノ部)
ト口譯ヲナスヘシ

買受ノ部

何月何日印紙賣捌人何國何郡何町何某ヨリ買入

一金何程

何匁用何錢何厘何枚(何錢何厘角何枚)

何月何日印紙賣捌人何國何郡何町何某ヨリ買入

一金何程

(印紙ノ種類異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

金何程

何匁用何厘何枚

金何程

何匁用何錢何厘何枚

金何程

何錢何厘角何枚

(以下做之印紙ノ種類異ナル毎ニ順次記載シ一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナスヘシ)

小計金何程

内

金何程

何匁用何厘何枚

金何程

何匁用何錢何厘何枚

金何程

何錢何厘角何枚

何月分遣拂高ヲ引

何月一日現在高

金何程

何々用何厘何枚

金何程

何々用何錢何厘何枚

金何程

何錢何厘角何枚

(一日ノ現在高ハ其月ノ小計ニ合算スヘシ)

遣拂ノ部

何月何日

一金何程

何々用何厘何枚

何月何日

一金何程

何々用何錢何厘何枚

何月何日

一金何程

何錢何厘角何枚

(以下倣之印紙ノ種類異ナル毎ニ順次記載スヘシ一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナスヘシ)

小計金何程

内

金何程

何々用何厘何枚

金何程

何々用何錢何厘何枚

金何程

何錢何厘角何枚

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

烟草製造器械取調帳

何郡何町製造人

何 某

此帳簿ハ「自己所有ノ部」ト「賃切人ノ部」ト口譯ニシ器械并賃切人住所姓名記載方ハ
第壹號第貳號書式ニ同

仲買人帳簿書式

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

烟草買入帳

何郡何村仲買人

何 某

(「葉烟草買入ノ部」ト「刻烟草
買入ノ部」ト口譯ヲナスヘシ)

葉烟草買入ノ部

書式製造人「烟草製造帳」葉烟草買入ノ部ニ同シ但小計ノ末烟草製造尚ヲ引ノ七字ヲ

買渡高ヲ引ノ五字ニ換フ

刻烟草買入ノ部

何國何郡何村

製造人(仲買人)

何某ヨリ買入

但百匁ニ付卸賣定價
何程

何月何日

一五匁玉造何拾個

代價何程

同日

一五匁以下崩造何拾個

代價何程

同人ヨリ買入

何國何郡何村

製造人(仲買人)

何某ヨリ買入

何月何日

一拾匁玉造何拾個

十六年甲號

〇八十一

代價何程

但百匁ニ付卸賣定價

何月何日

何國何郡何村

製造人(仲買人)

一五拾匁箱結何拾個

何某ヨリ買入

代價何程

但同上

(以下倣之百匁ニ付卸賣定價ノ異ナル毎ニ順次記載シ一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ナ
スヘシ

小計何百何拾個

代價何程

内

五匁以下崩造何拾個

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

但百匁ニ付卸賣定價
貳拾五錢未滿

五匁玉造何拾個

代價何程

但同上
貳拾五錢以上

拾匁玉造何拾個

代價何程

但同上
貳拾五錢未滿

何月分賣渡崩造(箱詰玉造ノ分)高ヲ引
何月一日現在高

五匁以下崩造何拾個

代價何程

五匁玉造何拾個

代價何程

但百匁ニ付卸賣定價
貳拾五錢未滿

五匁玉造何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

拾匁玉造何拾個

代價何程

但同
貳拾五錢未滿

(一日ノ現在高ハ其月ノ小計ニ合算スヘシ)

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

烟草賣渡帳

何郡何町
仲買人

何 某

(「葉烟草賣渡ノ部」刻烟草賣渡ノ部「五匁以下崩造ノ部」五匁以下崩造賣渡ノ部「四部ニ口譯ヲナスヘシ」)

葉烟草賣渡ノ部 (十六年甲七十七號ヲ以代價何程ノ行ヲ削ル)

何國何郡何町

何月何日

製造人(仲買人)

一何々(國府朝柄ノ類)新葉(古葉)何拾貫匁

何某へ賣渡

代價何程

何國何郡何町

何月何日

製造人(仲買人)

一古葉何拾貫匁

何某へ賣渡

代價何程

(烟草ノ種類異ナルモノハ左ノ如ク内書ヲナスヘシ)

内

何々何貫匁

代價何程

何々何貫匁

代價何程

(以下倣之一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナスヘシ)

小計何百何拾貫匁

代價何程

内

何々新葉何拾貫匁

何々古葉何拾貫匁

何々古葉何拾貫匁

刻烟草賣渡ノ部

書式製造人「烟草製造帳」賣渡ノ部ニ同シ

五匁以下崩造ノ部

何國何郡何町

製造人(仲買人)

何某ヨリ買入ノ分

但百匁ニ付卸賣定價
何程

一五拾匁玉造(箱詰)何個

代價何程

此崩造何拾個

何國何郡何町

製造人(仲買人)

何某ヨリ買入ノ分

但同上
何程

何月何日

一三拾匁玉造(箱詰)何個

代價何程

此崩造何拾個

以下倣之百匁ニ付卸賣定價ノ異ナル毎ニ順次記載シ一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナス

小計何百何拾個 (十六年甲七十七号ヲ以小計以下更正
ニ付舊文ト差違アル處ハ圈點ヲ加フ)

代價何程

内

三拾匁玉造(箱詰)何個

代價何程

但百匁ニ付卸賣定價
貳拾五錢未滿

三拾匁玉造(箱詰)何個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

五拾匁玉造(箱詰)何個

代價何程

但同
貳拾五錢以上

此崩造何百何拾個

外

前月分越高何百何拾個

計何百何拾個

何月分賣渡高ヲ引

何月一日現在高

崩造何百何拾個

(一日ノ現在高ハ其月ノ小計ニ合算スヘシ)

五匁以下崩造賣渡ノ部

何國何郡何町

小賣人(仲買人)

何某へ賣渡

何月何日

一崩造何個

何國

小賣人(仲買人)

何月何日

一同何拾個

何某へ賣渡

(以下倣之一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナスヘシ)

小計何百何拾個

書式製造人「烟草製造帳」賣渡ノ部ニ同シ

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

烟草印紙受拂帳

何郡何村仲買人

何 某

書式製造人「烟草印紙受拂帳」ニ同シ

小賣人帳簿書式

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

烟草買入帳

何郡何村小賣人

何 某

(十六年甲七十七號ヲ以烟草買入帳更正)

(「刻煙草買入ノ部」ト「五匁以下崩造ノ部」ト口譯ニナスヘシ)

刻煙草買入ノ部

何國何郡何村

製造人(仲買人)

何某ヨリ買入

但百匁ニ付卸賣定價何程

何月何日

一五匁玉造何拾個

代價何程

同○日○

一○五○匁○以下○崩○造○何○拾○個○

代○價○何○程○

同○人○ヨ○リ○買○入○

何○國○何○郡○何○村○

製○造○人○(○仲○買○人○)

何○月○何○日○

一○拾○匁○玉○造○何○拾○個○

代○價○何○程○

何○某○ヨ○リ○買○入○

但○百○匁○ニ○付○却○賣○
定○價○何○程○

何○國○何○郡○何○村○

製○造○人○(○仲○買○人○)

何○月○何○日○

一○五○拾○匁○箱○詰○何○拾○個○

代○價○何○程○

何○某○ヨ○リ○買○入○

但○何○程○上○

(以下○之○百○匁○ニ○付○卸○賣○定○價○ノ○異○ナル○毎○ニ○順○次○記○載○シ○一○ケ○月○毎○ニ○左○ノ○如○ク○小○計○ヲ○ナ○ス○)

へ○シ○)

小○計○何○百○何○拾○個○

代○價○何○程○

内○

五○匁○以下○崩○造○何○拾○個○

代○價○何○程○

五○匁○玉○造○何○拾○個○

代○價○何○程○

五○匁○玉○造○何○拾○個○

代○價○何○程○

拾○匁○玉○造○何○拾○個○

代○價○何○程○

但○百○匁○ニ○付○卸○賣○定○價○
貳○拾○五○錢○未○滿○

但○同○
貳○拾○五○錢○以○上○

但○同○
貳○拾○五○錢○未○滿○上○

五○拾○匁○箱○詰○何○拾○個

代○價○何○程

何○月○分○賣○渡○高○何○百○何○拾○個

代○價○何○程

內○

五○匁○以○下○崩○造○何○拾○個

代○價○何○程

五○匁○玉○造○何○拾○個

代○價○何○程

五○匁○玉○造○何○拾○個

代○價○何○程

拾○匁○玉○造○何○拾○個

但○同
貳拾五錢以上

但○百匁=付卸賣定價
貳拾五錢未滿

但○同
貳拾五錢以上

代○價○何○程

何○月○分○崩○造○高○何○個

代○價○何○程

內○

拾○匁○玉○造○何○個

代○價○何○程

五○拾○匁○箱○詰○(玉造)何○個

代○價○何○程

差○引

何○月○一○日○現○在○高

五○匁○以○下○崩○造○何○拾○個

代○價○何○程

但○同
貳拾五錢未滿

但○百匁=付卸賣定價
貳拾五錢未滿

但○同
貳拾五錢以上

五〇夕〇玉〇造〇何〇拾〇個

代〇價〇何〇程

五〇夕〇玉〇造〇何〇拾〇個

代〇價〇何〇程

拾〇夕〇玉〇造〇何〇拾〇個

代〇價〇何〇程

五〇拾〇夕〇箱〇詰〇何〇個

代〇價〇何〇程

(一〇日〇現〇在〇高〇ハ〇其〇月〇ノ〇小〇計〇ニ〇合〇算〇ス〇ヘ〇)

五〇夕〇以〇下〇崩〇造〇ノ〇部

何〇月〇何〇日

一〇五〇拾〇夕〇箱〇詰〇(玉〇造)〇何〇個

但〇百〇夕〇ニ〇付〇卸〇賣〇定〇價
貳〇拾〇五〇錢〇未〇滿

但〇同
貳〇拾〇五〇錢〇以〇上

但〇同
貳〇拾〇五〇錢〇未〇滿

但〇同
貳〇拾〇五〇錢〇以〇上

代〇價〇何〇程

此〇玉〇造〇何〇拾〇個

何〇月〇何〇日

一〇拾〇夕〇玉〇造〇何〇個

代〇價〇何〇程

此〇玉〇造〇何〇拾〇個

(以〇下〇做〇之〇百〇夕〇ニ〇付〇卸〇賣〇定〇價〇ノ〇異〇ナル〇毎〇ニ〇順〇次〇記〇載〇シ〇一〇ケ〇月〇毎〇ニ〇左〇ノ〇如〇ク〇小〇計〇ヲ〇ナ〇ス

小〇計〇何〇拾〇個

代〇價〇何〇程

內

拾〇夕〇玉〇造〇何〇個

但〇百〇夕〇ニ〇付〇卸〇賣
定〇價〇何〇程

但〇同
何〇程上

代價何程
拾匁玉造何個

但○百匁ニ付卸賣定價
貳拾五錢未滿

代價何程

但○同
貳拾五錢以上

五拾匁箱詰(玉造)何個

代價何程

但○同
貳拾五錢以上

此崩造何百何拾個

外○

前月分越高何拾個

計何百何拾個

何月分賣渡高何百何拾個ヲ引

何月一日現在高

崩造何拾個

(表紙書式)

(用紙美濃紙橫帳)

明治何年

煙草賣渡帳

何郡何町小賣人

何 某

(十六年甲七十七號ヲ以煙
草賣渡帳及書式共削除)

(刻煙草賣渡ノ部ニ五匁以下崩造ノ部ニ五匁以
下崩造賣渡ノ部)ノ三部ニ口譯ヲナスヘシ

刻煙草賣渡ノ部

何月何日

一五匁玉造

代價何程

何月何日

何個

但○百匁ニ付卸賣定價
何程

一、拾、匁、玉、造、

何、個、

代、價、何、程、

但、同、

程、上、

何、月、何、日、

一、五、拾、匁、箱、詰、

何、個、

但、同、

程、上、

代、價、何、程、

何、月、何、日、

一、五、匁、以、下、崩、造、

何、拾、個、

代、價、何、程、

（以、下、做、之、百、匁、ニ、付、卸、賣、定、價、ノ、異、ナル、毎、ニ、順、次、記、載、シ、一、ケ、月、毎、ニ、左、ノ、如、ク、小、計、ヲ、ナ、ス、
ハ、シ、

小、計、何、百、何、拾、個、

代、價、何、程、

丙、

五、匁、以、下、崩、造、何、拾、個、

代、價、何、程、

五、匁、玉、造、何、個、

代、價、何、程、

五、匁、玉、造、何、個、

代、價、何、程、

拾、匁、玉、造、何、個、

代、價、何、程、

拾、匁、玉、造、何、個、

代、價、何、程、

五、拾、匁、箱、詰、何、個、

但、百、匁、ニ、付、卸、賣、定、價、
貳、拾、五、錢、未、滿、

但、同、
貳、拾、五、錢、以、上、

但、同、
貳、拾、五、錢、未、滿、

但、同、
貳、拾、五、錢、以、上、

代價何程

五匁以下崩造ノ部

書式仲買人「烟草賣渡帳」五匁以下崩造ノ部ニ同

五匁以下崩造賣渡ノ部

何月何日

一崩造何個

何月何日

一同何個

(以下做之一ヶ月毎ニ左ノ如ク小計ヲナスヘシ)

小計何百何拾個

但同
貳拾五錢以上

(表紙書式)

(用紙美濃紙横帳)

明治何年

烟草印紙受拂帳

何郡何町小賣人

何 某

書式製造人「烟草印紙受拂帳」ニ同シ

○甲第五十六號 十六年八月廿五日

大野益田兩郡ニ係ル縣會議員補欠撰舉會ヲ開ク

○甲第五十七號 十六年八月廿五日

本年本縣甲第四拾壹號布達地方稅徵收順序中更正

○甲第五拾八號 十六年八月三十一日

明治十五年三月本縣甲第十八號布達人力車取締規則第四條雛形中(第何號車ノ番號

ヲ云フ)ノ一行及ヒ第六條第一項中(并車ノ番號)ノ五字ヲ刪除シ第七條左ノ通改正
候條此旨布達候事

○十五年甲十八號ハ第三
照卷五類百三十二ニアリ

人力車取締規則中

第七條 人力車營業人ハ更ニ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

但專ラ自用ニ供スル人力車ハ前各條ノ規則ニ關セスト雖モ所有主ノ住所氏名ヲ
記シタル木札ヲ釘付シ仍ホ本條ノ末三項ヲ遵守スヘシ

一 器具破損又ハ賃價表ヲ貼付セサル車ヲ以テ營業スヘカラサル事

一 賃價表ヲ賃借轉用スヘカラサル事

一 行人ニ對シ強テ乘車ヲ勸メ又ハ侮慢無禮ノ言行ヲ爲スヘカラサル事

一 乘客ニ對シ約束外ノ金錢ヲ請求シ又ハ過當ノ賃錢ヲ得ンカ爲ニ乘客ノ求ヲ拒ム

ヘカラサル事

一 乘客ノ承諾ヲ待スシテ途中ニ車ノ交換ヲ爲スヘカラサル事

一 車内ニ遺留品アル片其主分明ナルハ之ヲ還付シ否ヲサルハ速ニ警察官ニ届出ヘ

キ事

一 車馬行逢フ時ハ左ニ避ケ坂路ハ上リ車ヲ避ケル事

一 往來雜沓ノ場所若クハ街角橋梁ヲ通過スル時ハ徐行シ且掛ケ聲ヲ爲ス事

一 前車徐行シ後車疾行スル時ハ後車掛聲ヲ爲スヘシ前車ハ便宜之ヲ避ケ後車ヲ通

過セシムル事

○甲第五十九號 十六年九月八日

本年本縣甲第五十五號布達烟草營業者心得書第十三條帳簿書式中更正 (原達訂正)

○甲第六拾號 十六年十月三日

本年本縣甲第三十一號布達賣藥營業人心得書第六條但書追加

○甲第六拾壹號 十六年十月九日

本縣醫學學校規則別冊之通相定候條此旨布達候事 (別冊零ス)

○甲第六十貳號 十六年十月十一日

山林原野池沼等ヲ田畑宅地ニ開墾スルモノハ渾テ出願許可ヲ可請旨明治十四年本縣
甲第貳拾九號ヲ以及布達候處之ニ反シ田畑宅地ヲ山林原野等ニ變換セントスルモノ
モ別紙雛形之通取調繪圖相添其都度出願可致尤右地目變換許可ノ上ハ更ニ地價修正
之儀願出候儀ト可相心得此旨布達候事

用紙野半紙正副二通

雛形

田畑ヲ山林原野ニ變換之儀願
宅地野等

何郡何村

番號

一田畑反別何反何畝步
宅地

何郡何村

地主 何

某

内

反別何反何畝步

殘反別何反何畝步

番號

一田畑反別何反何畝步
宅地

悉皆何々山林又ハ
何々山原野ニ變換

右ハ何々ニ付(事由詳細記)前顯之通地所變換致度尤他ニ支障之筋無御座候間御聞届
被下度別紙圖面相添此段奉願候也

今般何々林又ニ變換
ハ藪原野

田畑ニテ据
宅地

同 村

地主 何

某

右願人

何 某 印

保証接續地主

何 某 印

年號月日

縣令宛

前書之通相違無御座候以上

何 某印
何 某印

右村戸長

何 某印

右ニ附スル圖面ハ願ノケ所見分リ易キ様改租ノ際調上タル切繪圖ニ倣ヒ四隣景況及ヒ人名ヲモ記載スヘシ

○甲第六十三號 十六年十月廿三日

明治十四年本縣丙第四號酒造營業人心得書中左ノ通更正追加候條此旨布達候事
第三項

免許鑑札ハ其年一期有効ノモノトス故ニ引續キ營業セントスル者ハ最初授與シテ

ル鑑札ヲ差出シ十月一日限免許ヲ請フヘシ縣廳ニ於テハ其鑑札ノ裏面ヘ免許ノ證
印ヲ捺シ再ヒ之ヲ授與スヘシ但十月一日限免許ヲ請ハサル者ハ免許鑑札ヲ返納ス
ヘシ

明治十五年第六十一號布告以前ヨリ引續キ營業ヲナスモノハ稅則第四條第二項第
三項ノ制限ニ拘ハラヌ酒類ヲ製造スルヲ得同布告以後免許ヲ受ケタル營業者ニテ
翌期ヘ引續キ免許ヲ請フ片ハ同業者五名以上ノ連署ヲ要セスト雖モ稅則第四條第
二項ノ制限ニ據ルヘシ

第八項 廢業ノ節ハ其旨届出直ニ免許鑑札ヲ返納スヘシ
但都合ニヨリ一時休業スル者ハ其旨届出置キ十月一日限リ第三項ノ手續ニヨリ
翌期ノ免許ヲ請フカ或ハ免許鑑札ヲ返納スヘシ

第九項 稅則第二十六條該一期造酒見込ノ種目石數並ニ造リ方法トモ第二號書式ニ
倣ヒ免許願書ト同時ニ差出スヘシ爾後増減變換等アル片ハ同書式ニ倣ヒ其相度届

出ヘシ

但造酒保存又ハ桶灌用ニ充テ製造スル燒酎ハ其譯記載シ置クヘシ

第十二項 酒造ニ属スル倉庫納屋等ハ其實況詳細繪圖面ニ製シ且諸器械ハ第三號雜形ノ通取調差出スヘシ爾後新調破解スルカ又ハ變換或ハ賣買讓與貸借（同業者中與貸借ハ）スル片ハ其時々届出ルハ勿論更ニ調書ヲ製シ引換ヲ請フヘシ

但本文賣買讓與貸借等若シ他管下ニ交渉スル片ハ第五項第六項ノ手續ニ據ルヘシト雖モ其買（讓）借（受）ニ係ル諸器械ノ處分方ハ其買（讓）借（受）人所在管廳管理内ト心得ヘシ

第二款 桶瓶検査

第十五項 稅則第二十條第一項酒造用諸器械ノ内桶瓶類ハ検査ノ上第五號書式ノ如ク調査簿甲乙二帳ヲ製シ甲帳ハ縣廳ニ備置キ乙帳ハ營業者ニ下付スヘシ

第十六項 前項ノ桶瓶ハ左ニ掲クル所ノ丈量法及ヒ算則ニヨリ詳密検査ヲ遂ケ桶回

面ヘ左ノ件々ヲ掲載シ縣廳ノ烙印ヲ爲スヘシ

但輪替輪締メ等總テ修繕ヲ爲セシ片ハ稅則第二十條第一項ニヨリ使用以前ニ申

出更ニ検査ヲ受クヘシ

番號	
口徑	何程
胴徑	何程
底徑	何程
深サ	何程
石數	何程

調査ノ年號月日

調査人ノ官姓名

酒造桶類丈量法

口徑 口頭ヨリ一寸 筒所 筒所ノ中央 底徑 底板面ハ孰レモ内測リニテ縱横⊕圖ノ如ク度リ
此縱横徑ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ム深サハ其酒桶ノ前宜ノ筒所後其背孰レモ
底ヨリ口徑迄ノ間ヲ丈量シ此前後ノ尺度ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムヘシ
但尺度ハ孰レモ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシ

算則

口洞底ノ三徑ヲ各個自乘シ此三個ヲ和シ之ヲ三ニテ除キ以テ實トス之ニ深ヲ乘シ
又圓積率 $\frac{7}{8}$ ヲ乘シ而シテ升法 $\frac{6}{4}$ $\frac{8}{7}$ ヲ以テ除キ其容量ヲ得ル
但石數ハ合位ニ止メ勻以下切捨ツヘシ

第十七項

但營業者ニ於テ適宜木札ヲ製シ其正面ニ付シ置クヘシ縣廳ニ於テハ檢査ノ上番
號石數ヲ書載シ縣廳ノ烙印ヲナスヘシ

第十九項 粕桶水桶米浸桶ノ類ニシテ全ク酒類ヲ容レサル分ハ其名稱(粕桶水)番號

(前項桶瓶類ノ順)ノミナ記載シ之ニ縣廳ノ烙印ヲナスヘシ

第二十項 檢査濟ノ桶瓶類ヲ營業者ニアラサル者へ賣(讓)渡スカ又ハ破解及不用ニ
屬シ再ヒ酒造ニ用ヒサルモノ或ハ廢業スルモノハ直ニ烙印其他記載シアル件々ノ
削却方ヲ請フヘシ

第二十一項

但書刪除

第二十三項 前項封緘并解披ノ年月日及ヒ使用等ヲ許シタル日數ハ第六號書式ノ如
キ請書ニ其都度請印ヲナスヘシ若シ事故アリテ使用ノ日數ヲ伸縮スルモ其事故
ヲ詳記シ直ニ届出ヘシ
但用紙ハ縣廳ヨリ下渡スヘシ

第二十六項

但書刪除

第二十七項 毎年十月ニ至レハ古酒ノ石數ヲ取調酒藏出帳ニ對シ差違アルキハ其現在石數ニ改メ記載シ置クヘシ

第二十八項 酒もどハ使用以前検査ヲ受ケ膠ハ搾リ始メ以前第八號書式ニ倣ヒ検査ヲ願出同時ニ器械ノ開封ヲ請フヘシ

但酒もどノもど立ニ着手スルキハ其月日ヲ前以テ届出ヘシ

酒もどハ其ツボミ桶へ既立ノ「番號」「月日」醱入桶へハ仕込「番號」留仕込ノ「月日」新酒入桶へハ搾リ揚ケノ「月日」検査既(未)濟ノ區別「古酒」「買入^古新酒」「火入酒」「養合酒」入桶へハ其譯ヲ各桶面へ白字ニテ記載シ置クヘシ

第三十項

但書刪除

第三十四項 諸帳簿名酒造米買入帳ノ次へ左ノ一帳簿ヲ追加ス

搗米帳

第三十七項ノ但書ヲ刪除シ左ノ通進加ス

検査濟ノ滓酒ノミヲ搾リ直サントスル時ハ其時々前以テ届出検査ヲ受ケ該滓酒搾リ上ケタル片ハ其石數ノ検査ヲ受クヘシ

第三十八項 刪除

第四十二項 酒造米ノ受渡ニハ検査濟ノ斗量ヲ用ヒ桶杓其他不正ノ量器又ハ權衡等ヲ以テ代用スヘカラス

第四十四項 前項搾リ直シタル酒類ハ其石數ノ検査ヲ受クヘシ

第五十八項 粕漉酒又ハ滓酒搾リ直シノ節元石數ヨリ増加スルキハ其剩餘ノ石數ニ對シ課稅スヘシ

第三號雛形左ノ通更正

第三號雛形 (用紙美濃紙堅帳)

酒造諸器械調書

何國郡町番地

何

某

酒造諸器械調

一酒桶	但蓋共	何個
一酒瓶	但蓋共	何個
一酒槽	但臺共	何個
一層杵		何個
一男柱		何本
一締ノ木		何個
一掛ケ袋		何個

一垂リ瓶

何個

一蒸溜器

幾個

一礎

幾個

一甑

何個

一暖氣樽

何個

一蒸釜

何個

一湯釜

何個

一半切桶

何個

一試シ桶

何個

但蒸試雜試共

一桃桶

何個

一擔桶

何個

一柄杓

何個